

令和元年度 大阪市高齢者実態調査の概要（在宅医療・介護連携関係）

<目次>

【本人調査・ひとり暮らし調査】

○本人調査

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 問 11 かかりつけの医師の有無                 | 5  |
| 問 11-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療     | 5  |
| 問 12 かかりつけの歯科医師の有無               | 6  |
| 問 12-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問歯科診療 | 6  |
| 問 13 かかりつけの薬剤師・薬局の有無             | 7  |
| 問 13-1 通院出来なくなった場合の薬剤師・薬局による在宅訪問 | 7  |
| 問 17 医療の相談先                      | 8  |
| 問 18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度       | 9  |
| 問 19 在宅で提供される医療                  | 9  |
| 問 20 人生会議の認知度                    | 10 |
| 問21 終末期に過ごしたい場所                  | 11 |
| 問22 終末期についての話し合いの有無              | 11 |
| 問22-1 終末期について話し合った相手             | 12 |
| 問22-2 話し合いで決めた内容の共有の有無           | 12 |
| 問23 日常生活全般に対する不安                 | 13 |

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 問32 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方 | 14 |
| 問35 在宅生活継続のために必要な支援         | 15 |
| 問37 現在の生活の満足度               | 15 |
| 問57 重点を置くべきと考える高齢者施策        | 16 |

## 〇ひとり暮らし調査

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 問 11 かかりつけの医師の有無                 | 17 |
| 問 11-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療     | 17 |
| 問 12 かかりつけの歯科医師の有無               | 17 |
| 問 12-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問歯科診療 | 18 |
| 問 13 かかりつけの薬剤師・薬局の有無             | 18 |
| 問 13-1 通院出来なくなった場合の薬剤師・薬局による在宅訪問 | 18 |
| 問 17 医療の相談先                      | 19 |
| 問 18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度       | 20 |
| 問 19 在宅で提供される医療                  | 20 |
| 問 20 人生会議の認知度                    | 21 |
| 問21 終末期に過ごしたい場所                  | 21 |
| 問22 終末期について話し合いの有無               | 22 |
| 問22-1 終末期について話し合った相手             | 22 |
| 問22-2 話し合いで決めた内容の共有の有無           | 23 |
| 問23 日常生活全般に対する不安                 | 23 |
| 問32 介護や支援が必要になった場合に希望する暮らし方      | 24 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 問35 在宅生活継続のために必要な支援  | 25 |
| 問37 生活の満足度           | 25 |
| 問57 重点を置くべきと考える高齢者施策 | 25 |

## 【介護保険サービス利用者・未利用者調査及び介護者調査】

### ○介護サービス利用者調査

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 問 9 現在の自宅で受けている医療に関するサービス             | 27 |
| 問 9-1 訪問される方                          | 28 |
| 問 12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向 | 28 |

### ○サービス未利用者調査

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 問 10 現在の自宅で受けている医療に関するサービス            | 29 |
| 問 10-1 訪問される方                         | 30 |
| 問 12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向 | 31 |

### ○介護者調査

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 問 26-1[30] 介護を行ううえで困った時の相談先 | 32 |
| 問 29(34) 在宅での介護を続けるために重要なこと | 33 |

## 【介護支援専門員調査】

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 問 8-2 利用者にかかる医療的処置      | 34 |
| 問 8-3 終末期を在宅で迎える利用者数    | 35 |
| 問 11 量的に不足していると思われるサービス | 36 |
| 問 17 医療に関する情報収集方法       | 37 |
| 問 18 他職種・他機関との連携        | 38 |
| 問 19 医療機関との連携するうえでの工夫   | 38 |
| 問 20 在宅医療・介護連携の推進に必要なこと | 39 |

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 問 21 病院・施設等を入退所する利用者を担当したことがあるか       | 40 |
| 問 22①～④ 入退所する病院・施設等との連携について           | 40 |
| 問 22-1 病院・施設等との連携の加算について              | 42 |
| 問 22-2 退院・退所の際に困ったことの有無               | 43 |
| 問 23 在宅で医療的処置が必要な利用者への支援を行ううえで困っていること | 44 |
| 問 24 在宅医療を進めていく上で必要な社会資源              | 45 |
| 問 25 自宅での生活を継続するのに苦慮する課題              | 46 |
| 問 26 在宅医療・介護連携相談支援室の認知度               | 46 |
| 問 27 サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていること       | 47 |
| 問 28 サービス担当者会議の開催における各職種への出席要請        | 48 |
| 問 45 仕事の満足度                           | 48 |
| 問 48 介護支援専門員業務を行ううえでの課題               | 49 |
| <b>【施設調査】</b>                         |    |
| 問 15 地域福祉に貢献していること                    | 50 |
| 問 16 (1)他職種・他機関との連携                   | 51 |
| 問 16 (2)在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと         | 52 |
| 問 18 (1)看取りの届出状況                      | 53 |
| 問 18(2)看取りの実績                         | 54 |
| 問 18(3)今後の看取りの課題                      | 55 |

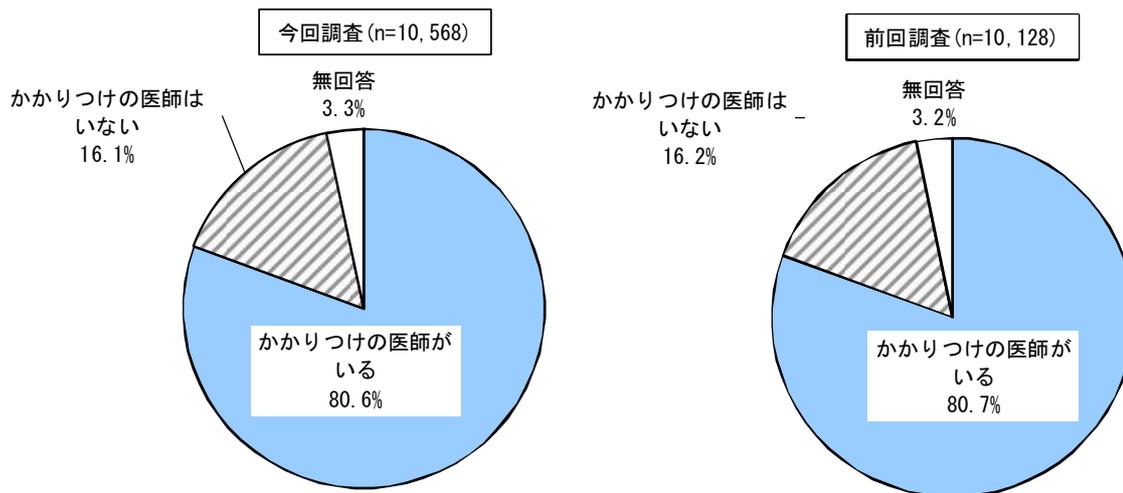
【本人調査・ひとり暮らし調査】

○本人調査

問11 かかりつけの医師の有無

あなたには、かかりつけの医師はおられますか。(○はひとつ)

【図11 かかりつけの医師の有無(経年比較)】



かかりつけの医師の有無については、「かかりつけの医師がいる」が80.6%、「かかりつけの医師はいない」が16.1%となっている。

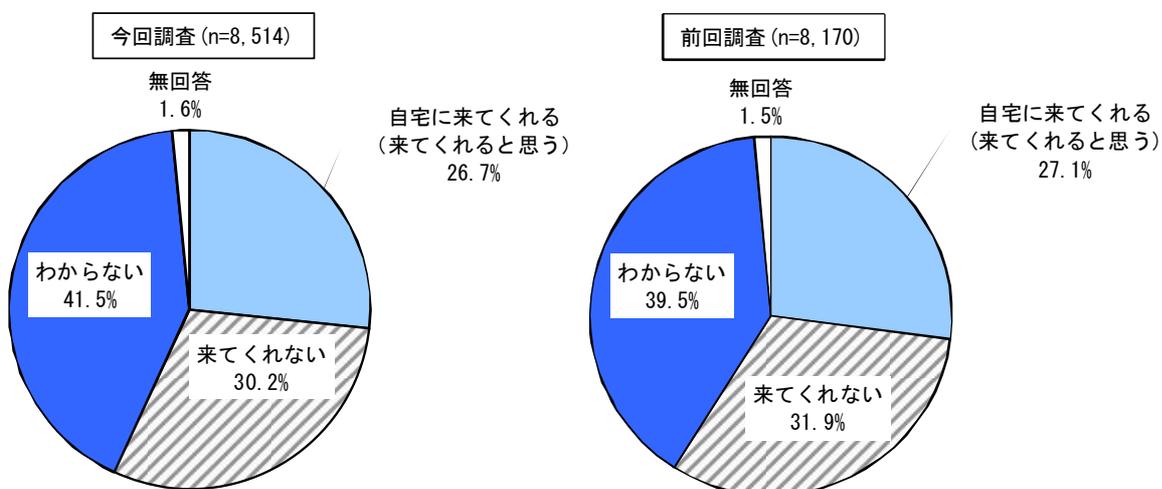
前回調査と比較しても、概ね前回と同様の傾向となっている。

問11-1 かかりつけの医師の訪問診療の有無

【問11で「1」と回答された方におうかがいします。】

かかりつけの医師はあなたが通院出来なくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

【図11-1 かかりつけの医師の訪問診療の有無(経年比較)】



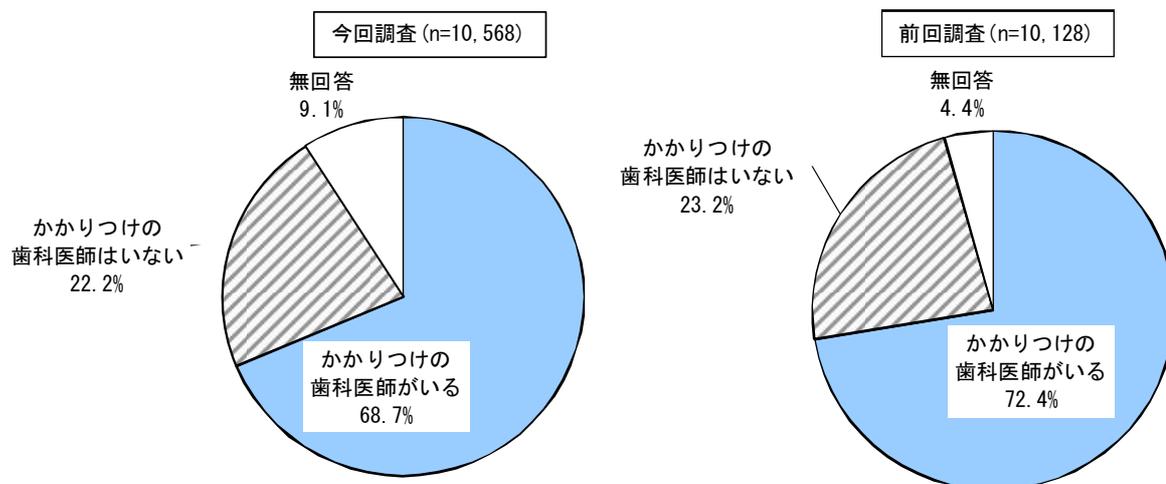
かかりつけの医師がいると回答した人に、通院出来なくなった時に自宅に来てくれるかたずねると、「わからない」が41.5%で最も多く、次いで「来てくれない」が30.2%、「自宅に来てくれる(来てくれると思う)」が26.7%となっている。

前回調査と比較しても、概ね前回と同様の傾向となっている。

## 問12 かかりつけの歯科医師の有無

あなたには、かかりつけの歯科医師はおられますか。(○はひとつ)

【図12 かかりつけの歯科医師の有無(経年比較)】



かかりつけの歯科医師の有無については、「かかりつけの歯科医師がいる」は68.7%、「かかりつけの歯科医師はいない」が22.2%となっている。

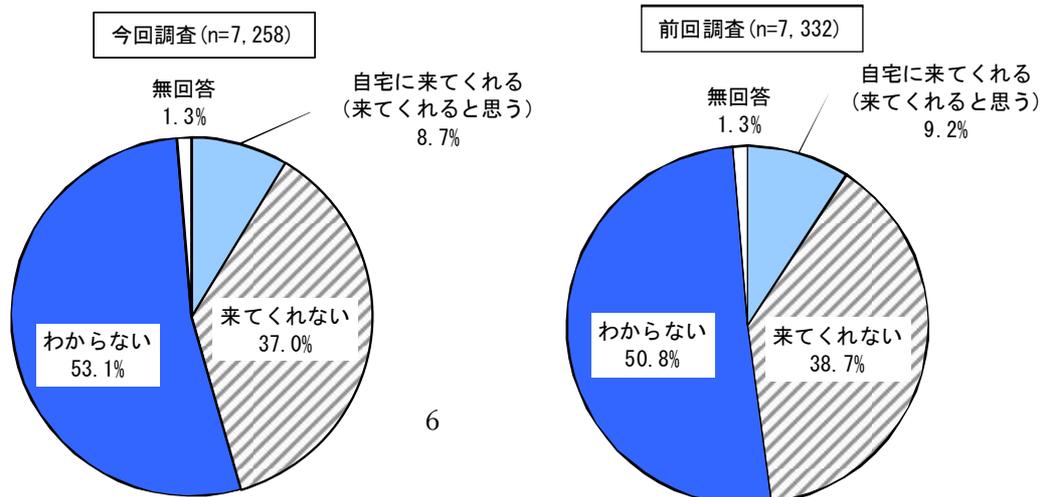
前回調査と比較すると、「かかりつけ歯科医師がいる」の割合が3.7ポイント低くなっている。

## 問12-1 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無

【問12で「1」と回答された方におうかがいします。】

かかりつけの歯科医師はあなたが通院出来なくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

【図12-1 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無(経年比較)】



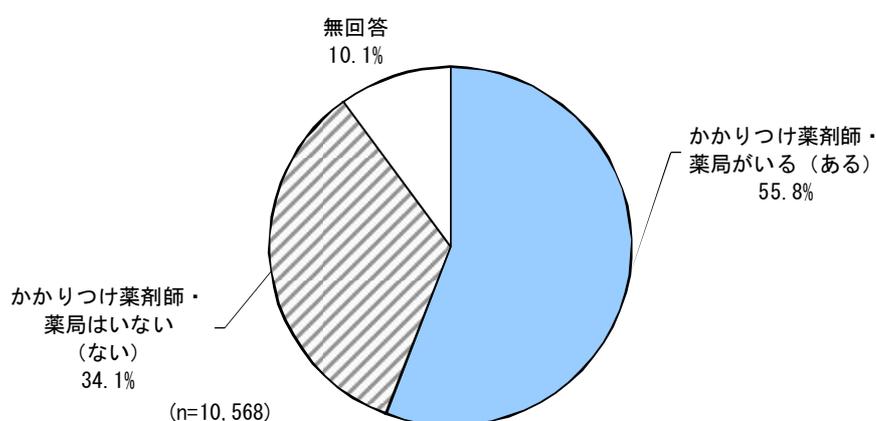
かかりつけの歯科医師がいると回答した人に、通院出来なくなった時に自宅に来てくれるかたずねると、「わからない」が53.1%で最も多く、次いで「来てくれない」が37.0%、「自宅に来てくれる(来てくれると思う)」が8.7%となっている。

前回調査と比較しても、概ね前回と同様の傾向となっている。

### 問13 かかりつけ薬剤師・薬局の有無

あなたには、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。(○はひとつ)

【図13 かかりつけ薬剤師・薬局の有無】



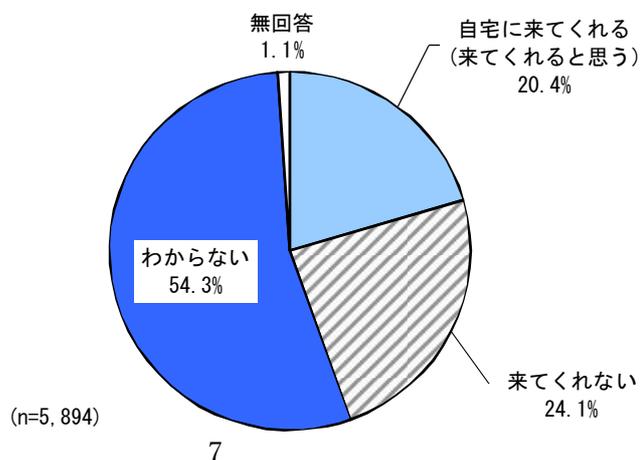
かかりつけ薬剤師・薬局の有無については、「かかりつけ薬剤師・薬局がある(ある)」が 55.8%、「かかりつけ薬剤師・薬局はない(ない)」が 34.1%となっている。

### 問13-1 かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無

【問13で「1」と回答された方におうかがいします。】

かかりつけ薬剤師・薬局はあなたが薬局へ行けなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

【図13-1 かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無】

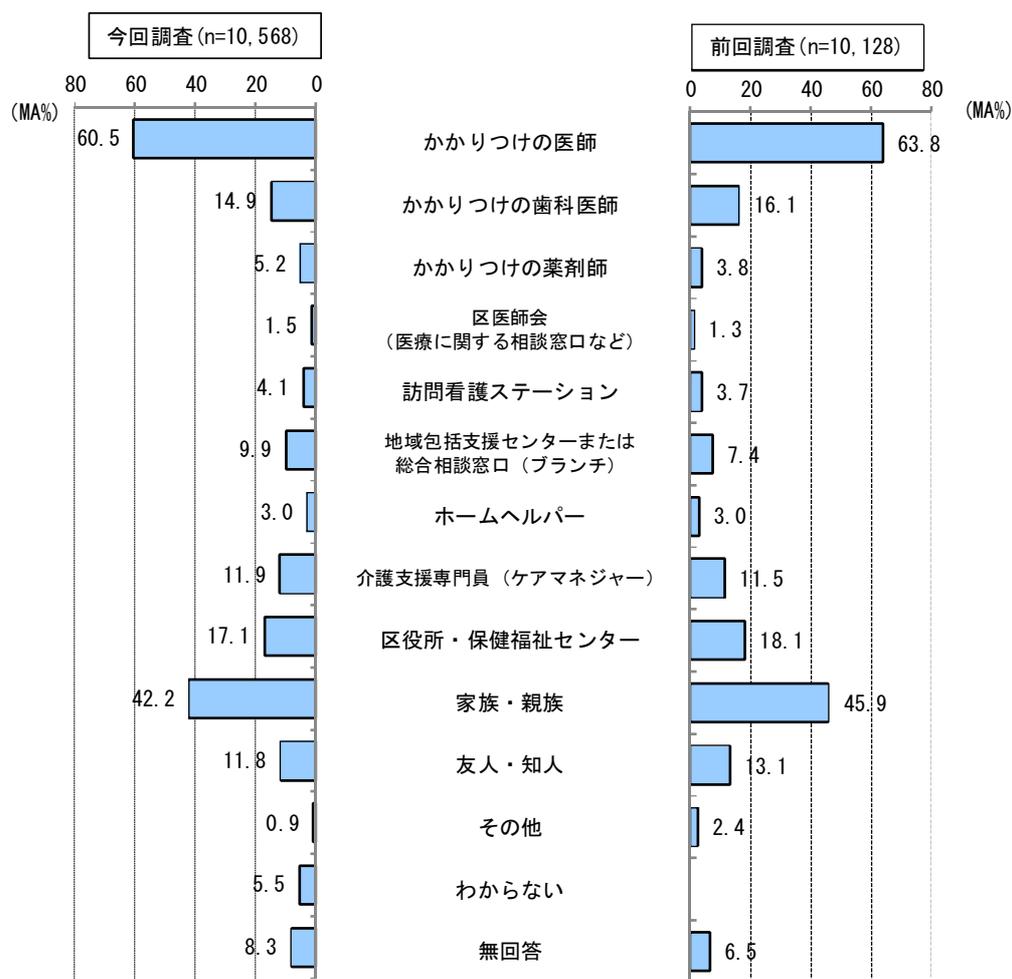


かかりつけ薬剤師・薬局がある(ある)と回答した人に、薬局へ行けなくなった時に自宅に来てくれるかたずねると、「わからない」が 54.3%で最も多く、「来てくれない」が 24.1%、「自宅に来てくれると思う(来てくれると思う)」が 20.4%となっている。

### 問17 医療の相談先

在宅で生活をしていて医療が必要になった時、どこに相談されますか。(〇はいくつでも)

【図17 医療の相談先(経年比較)】



※「わからない」は、前回調査に設けられていない。

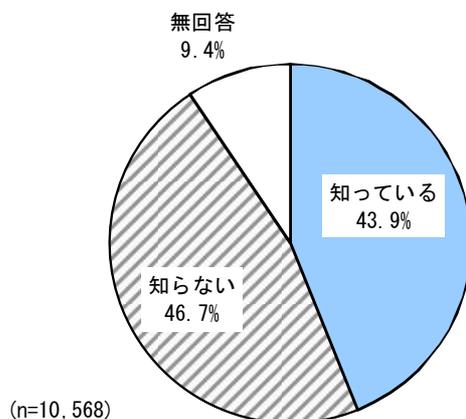
医療の相談先については、「かかりつけの医師」が60.5%で最も多く、次いで「家族・親族」が42.2%、「区役所・保健福祉センター」が17.1%となっている。

前回調査と比較すると、「かかりつけの医師」の割合が3.3ポイント、「家族・親族」が3.7ポイント低くなっている。

問18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度

あなたは、希望すれば在宅医療を受けられることを知っていますか。(○はひとつ)

【図18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度】

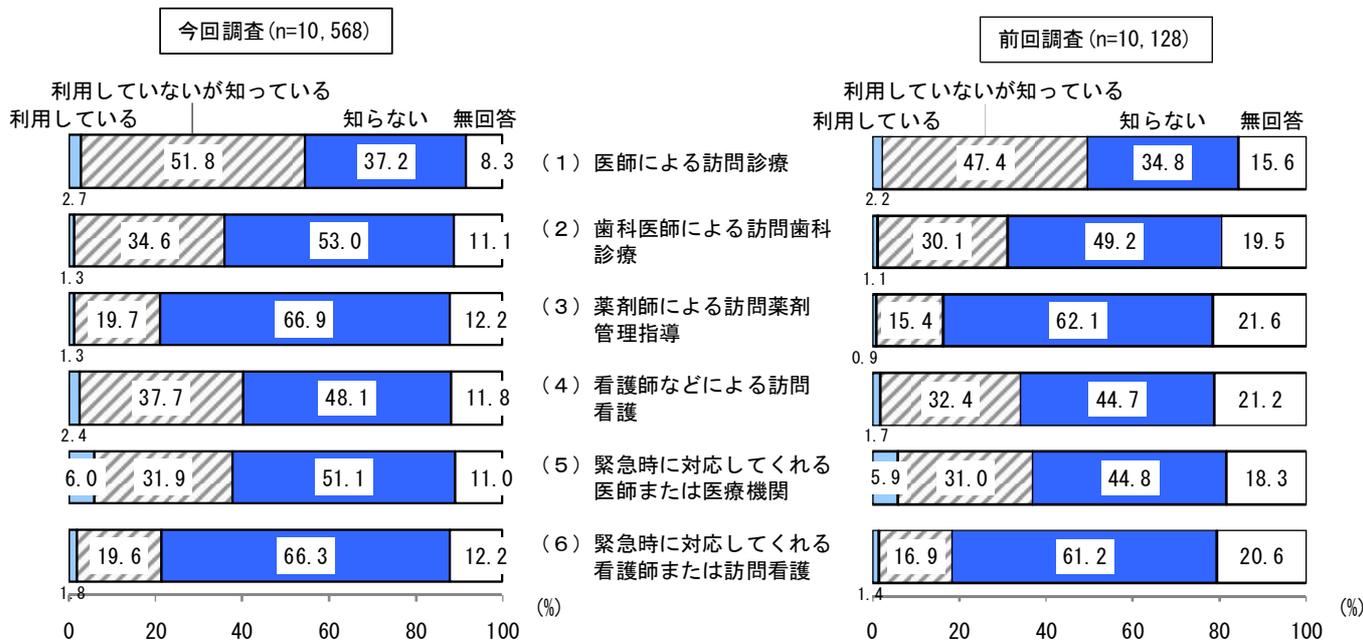


希望すれば在宅医療を受けられることを知っているかについては、「知っている」が43.9%、「知らない」が46.7%となっている。

問19 在宅医療の利用状況

次の項目それぞれについて「利用している」「利用していないが知っている」「知らない」のいずれか該当するものを番号で選んでください。(○はひとつずつ)

【図19 在宅医療の利用状況(経年比較)】



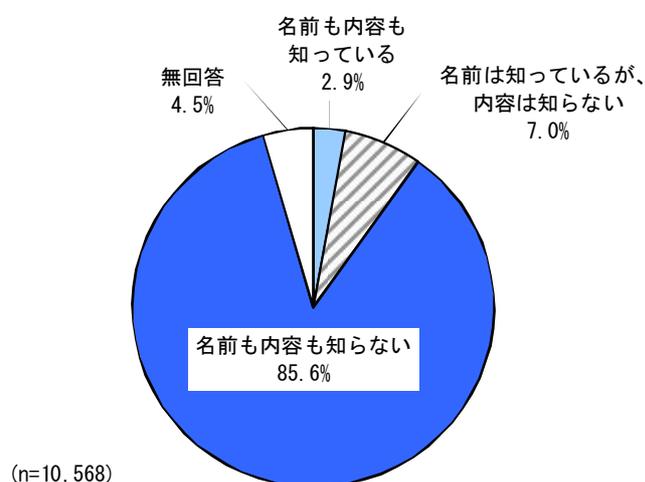
在宅医療の利用状況については、「利用している」の割合が最も高いのは、“(5)緊急時に対応してくれる医師または医療機関”(6.0%)となっている。「利用している」と「利用していないが知っている」をあわせた認知度は、“(1)医師による訪問診療”(54.5%)が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、構成割合は概ね同様であるが、「知らない」の回答割合は(1)～(6)のいずれも前回調査より高くなっている。

#### 問20 人生会議(ACP)の認知度

あなたは、『人生会議(ACP)』について知っていますか。(○はひとつ)

【図20 人生会議(ACP)の認知度】

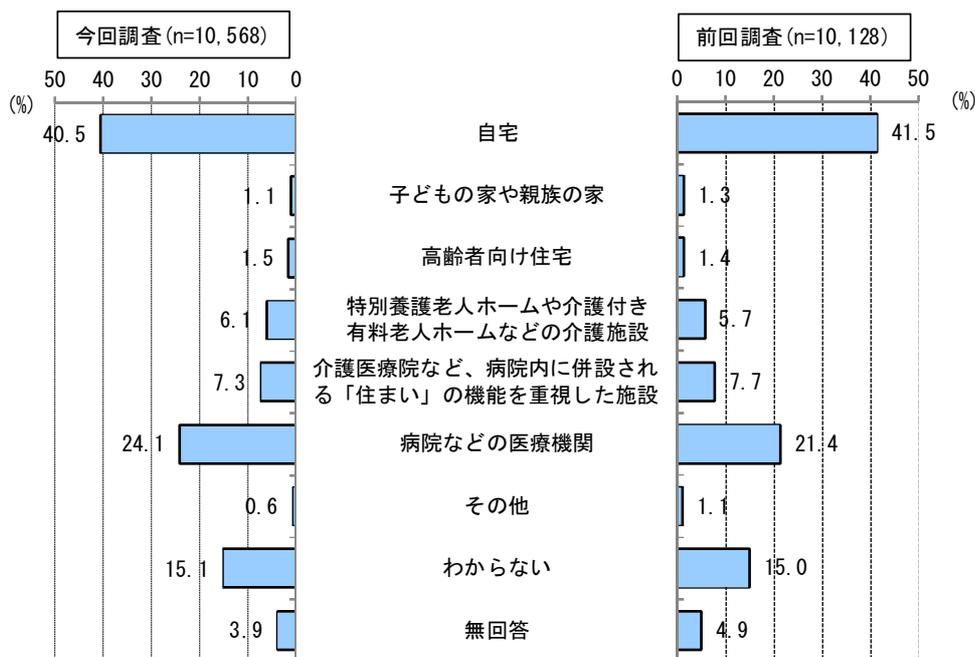


人生会議(ACP)の認知度については、「名前も内容も知らない」が85.6%で最も多く、次いで「名前を知っているが、内容は知らない」が7.0%、「名前も内容も知っている」が2.9%となっている。

問21 人生の最終段階に過ごしたい場所

万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、人生の最終段階をどこで過ごしたいですか。なお、必要な医療については、それぞれの場所で受けることができるものとしてお答えください。(〇はひとつ)

【図21 人生の最終段階に過ごしたい場所(経年比較)】



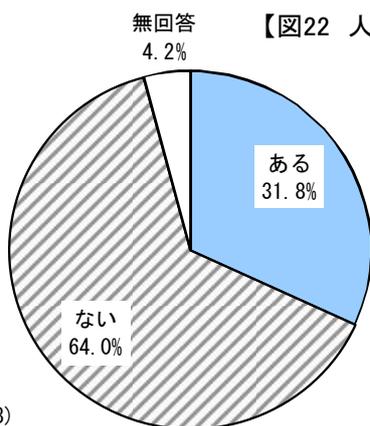
人生の最終段階に過ごしたい場所については、「自宅」が40.5%で最も多く、次いで「病院などの医療機関」が24.1%となっている。

前回調査と比較すると、概ね傾向は変わらないが、「病院などの医療機関」の割合は2.7ポイント高くなっている。

問22 人生の最終段階についての話し合いの有無

問21の人生の最終段階の過ごし方について、誰かと話し合ったことがありますか。(〇はひとつ)

【図22 人生の最終段階についての話し合いの有無】



※選択肢の変換:「はい」→「ある」、「いいえ」→「ない」

(n=10,568)

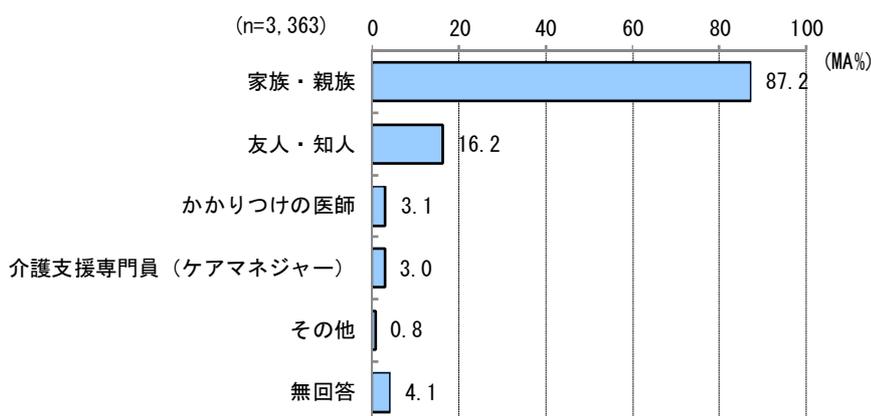
人生の最終段階について話し合ったことがあるかについて、「ある」が31.8%、「ない」が64.0%となっている。

#### 問22-1 人生の最終段階について話し合った相手

【問22で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

誰と話し合われましたか。(○はいくつでも)

【図22-1 人生の最終段階について話し合った相手】



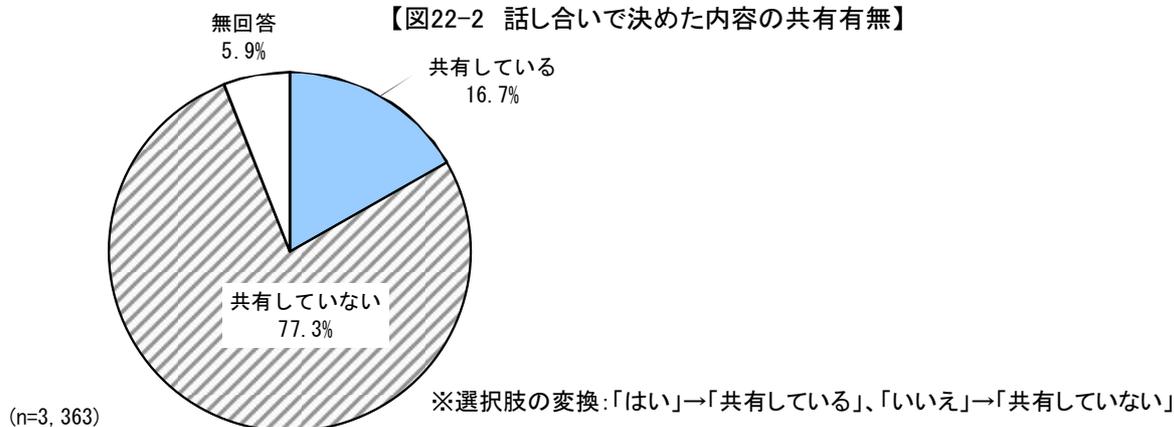
人生の最終段階について話し合ったことがあると回答した人に、話し合った相手をたずねると、「家族・親族」が87.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が16.2%となっている。前回調査とは設問形式が異なるため、一概に比較はできないが、参考としてみると、「話し合ったことがない」の割合が高くなっている。一方、話し合った相手の割合では低くなっているが、項目の傾向に大きく変化はみられない。

#### 問22-2 話し合いで決めた内容の共有有無

【問22で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

決めた内容を文書に記載するなど共有できるようにしていますか。(○はひとつ)

【図22-2 話し合いで決めた内容の共有有無】

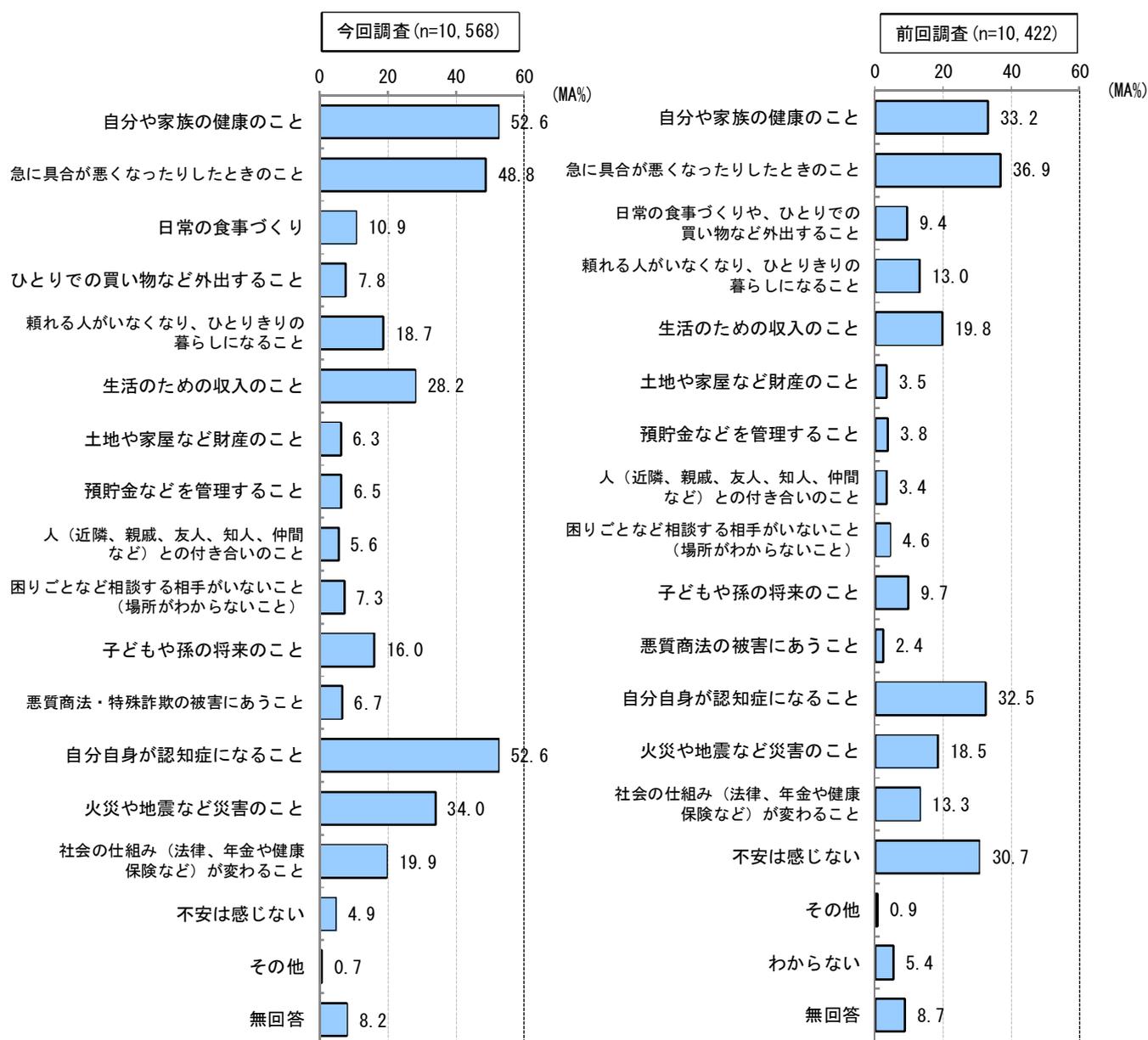


人生の最終段階について話し合ったことがあると回答した人に、決めた内容を共有できるようにしているかたずねると、「共有している」が16.7%、「共有していない」が77.3%となっている。

### 問23 日常生活への不安

あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図23 日常生活への不安(経年比較)】



※前回調査は、設問形式が今回調査と異なる。

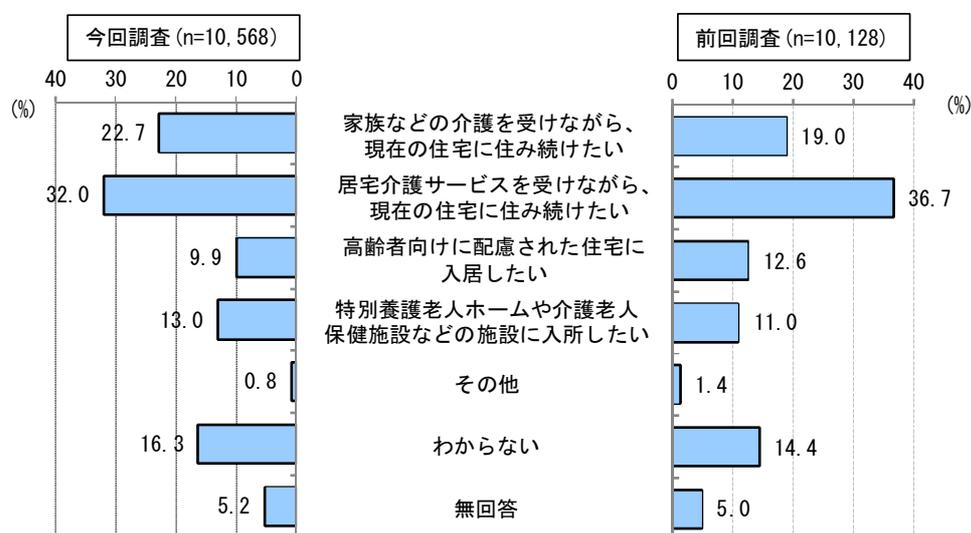
日常生活への不安については、「自分や家族の健康のこと」、「自分自身が認知症になること」が52.6%で最も多く、次いで「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が48.8%、「火災や地震などの災害のこと」が34.0%となっている。

前回調査とは設問形式が異なるため、一概に比較はできないが、参考としてみると、「自分や家族の健康のこと」「急に具合が悪くなったときのこと」「自分自身が認知症になること」が多い傾向は変わらない。

### 問32 介護が必要になった場合の暮らし方

あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇はひとつ)

【図32 介護が必要になった場合の暮らし方(経年比較)】



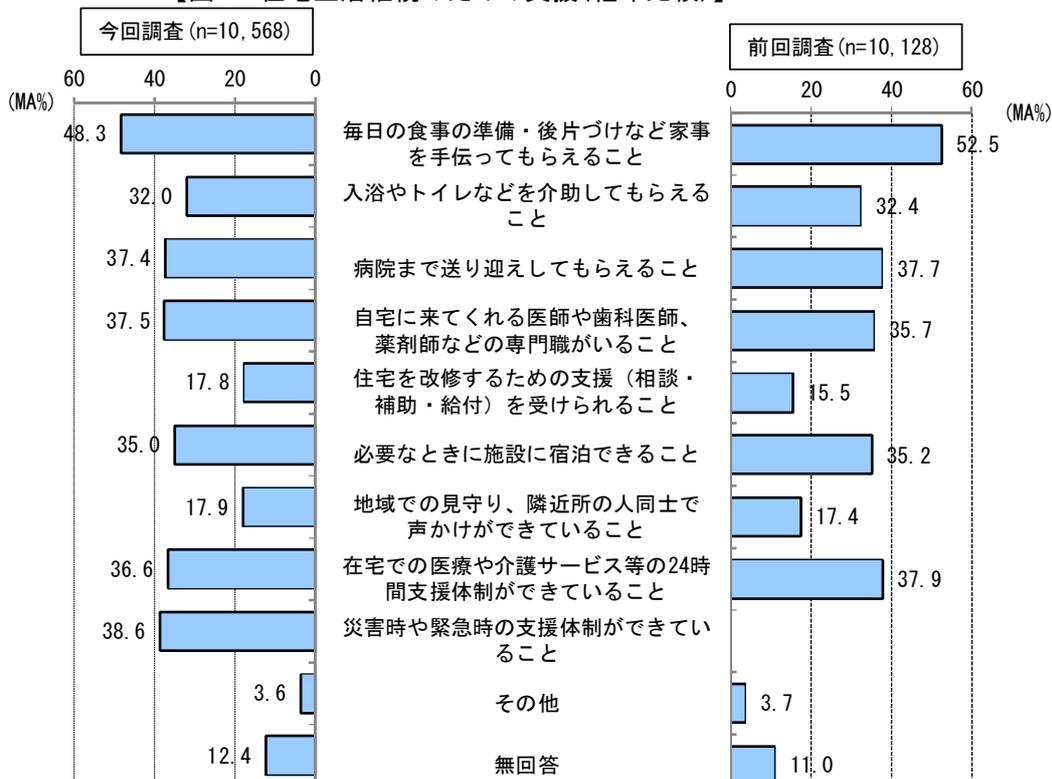
介護が必要になった場合の暮らし方については、「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」が32.0%で最も多く、次いで「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」が22.7%となっている。また、「わからない」は16.3%となっている。

前回調査と比較すると、「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の割合が4.7ポイント低くなっている。

### 問35 在宅生活継続のための支援

あなたは、どのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていけると思いますか。  
(○はいくつでも)

【図35 在宅生活継続のための支援(経年比較)】



※「災害時や緊急時の支援体制ができていること」は、今回調査の新規項目である。

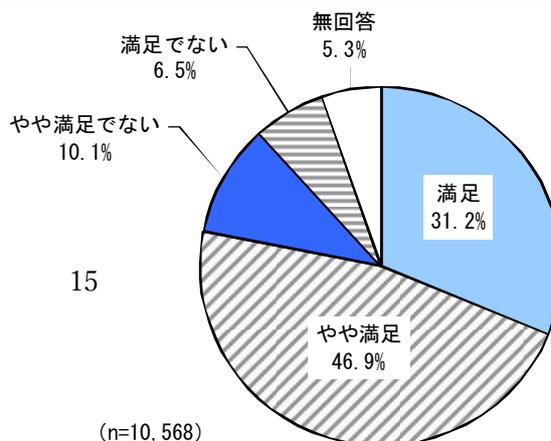
在宅生活継続のための支援については、「毎日の食事の準備・後片づけなど家事を手伝ってもらえること」が48.3%で最も多く、次いで「災害時や緊急時の支援体制ができていること」が38.6%、「自宅に来てくれる医師や歯科医師、薬剤師などの専門職がいること」が37.5%、「病院まで送り迎えしてもらえること」が37.4%となっている。

前回調査との比較では、傾向は変わらないが、「毎日の食事の準備・後片づけなど家事を手伝ってもらえること」の割合が4.2ポイント低くなっている。

### 問37 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

【図37 現在の生活の満足度】

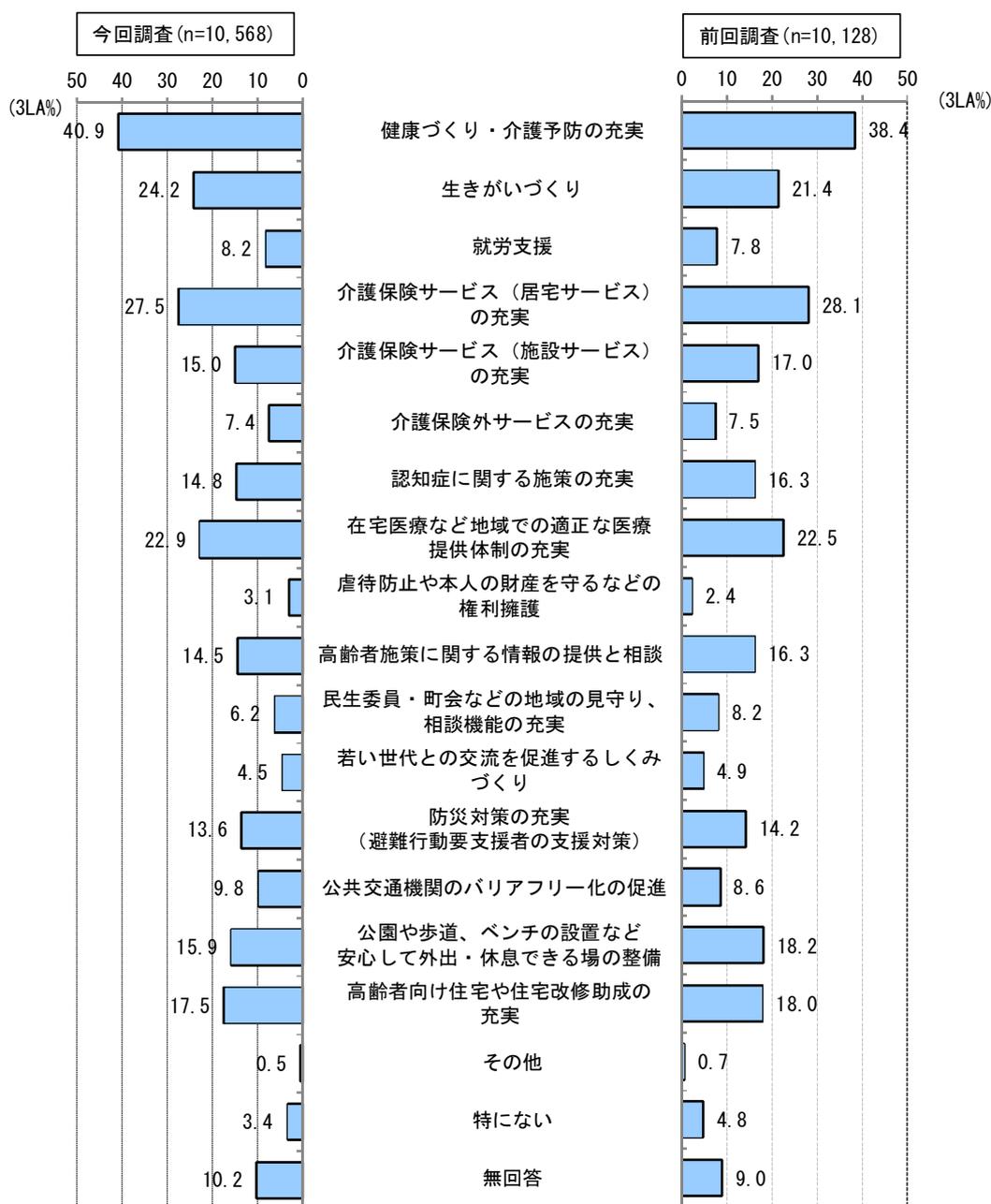


現在の生活の満足度については、「やや満足」が46.9%で最も多く、次いで「満足」が31.2%となっている。一方で「やや満足でない」「満足でない」をあわせた『満足でない』人は16.6%となっている。

### 問57 重点を置いてほしい高齢者施策

あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと思いますか。主なものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

【図57 重点を置いてほしい高齢者施策(経年比較)】



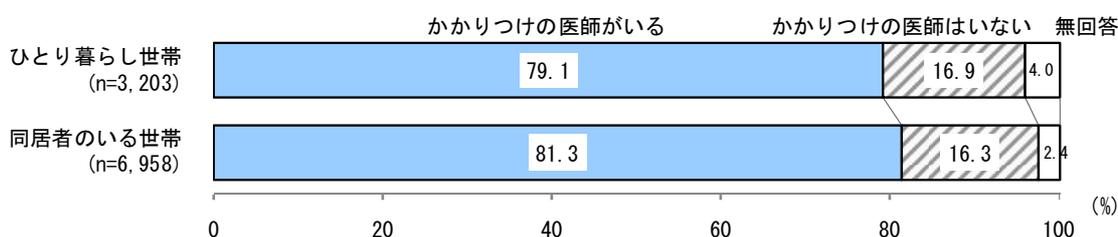
重点を置いてほしい高齢者施策については、「健康づくり・介護予防の充実」が40.9%で最も多く、次いで「介護サービス(居宅サービス)の充実」が27.5%、「生きがいづくり」が24.2%となっている。

前回調査と比較しても、概ね前回と同様の傾向となっている。

## ○ひとり暮らし調査

### 問11 かかりつけの医師の有無

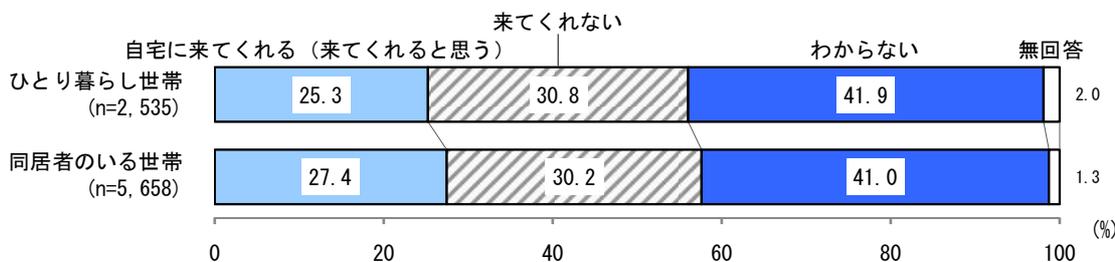
【図11 かかりつけの医師の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけの医師の有無]については、「かかりつけの医師がいる」が79.1%を占めているが、同居者のいる世帯より2.2ポイント低い割合になっている。

### 問11-1 かかりつけの医師の訪問診療の有無

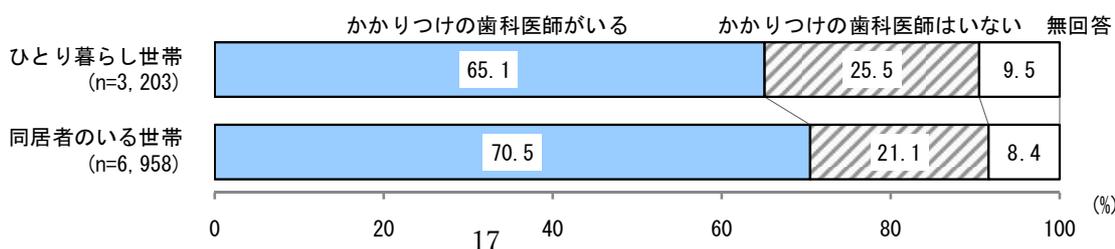
【図11-1 かかりつけの医師の訪問診療の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけの医師の訪問診療の有無]については、「わからない」が41.9%で最も多く、同居者のいる世帯と同様の傾向となっている。

### 問12 かかりつけの歯科医師の有無

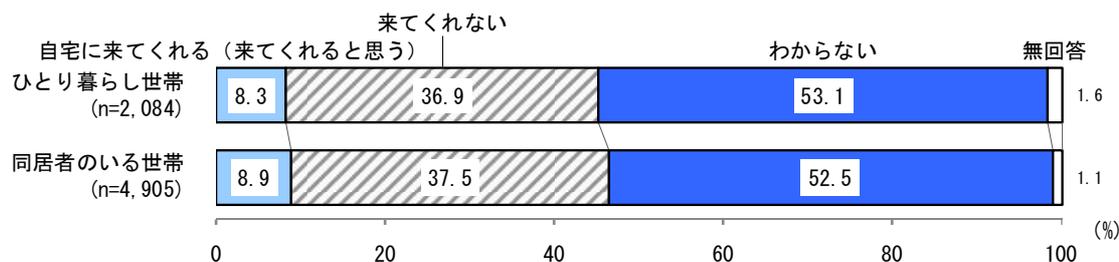
【図12 かかりつけの歯科医師の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけの歯科医師の有無]については、「かかりつけの歯科医師がいる」が65.1%を占めているが、同居者のいる世帯より5.4ポイント低い割合になっている。

### 問12-1 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無

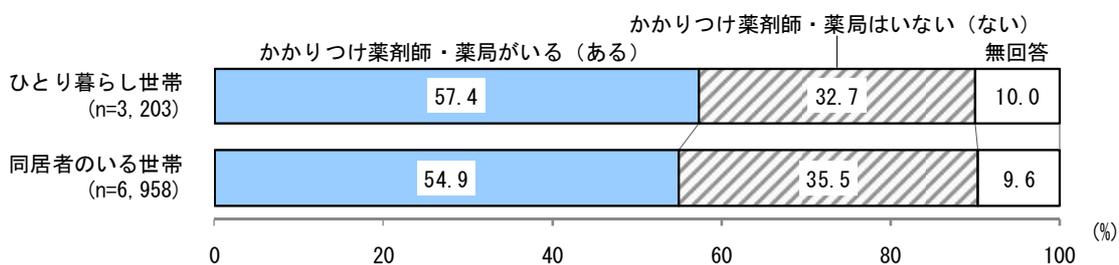
【図12-1 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無]については、「わからない」が53.1%で最も多く、同居者のいる世帯と同様の傾向となっている。

### 問13 かかりつけ薬剤師・薬局の有無

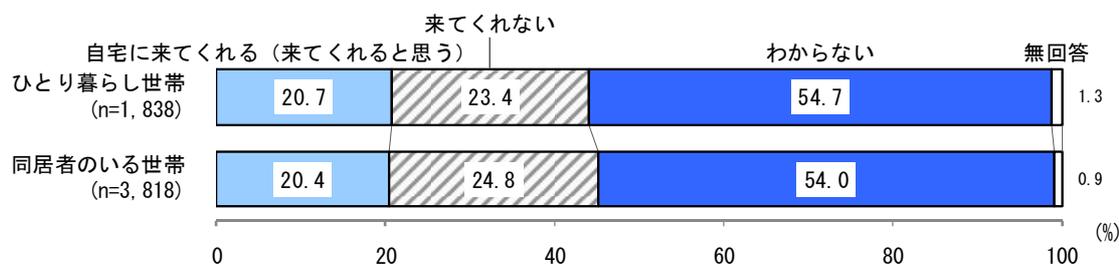
【図13 かかりつけ薬剤師・薬局の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけ薬剤師・薬局の有無]については、「かかりつけ薬剤師がいる(ある)」が57.4%を占めており、同居者のいる世帯より2.5ポイント高い割合になっている。

### 問13-1 かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無

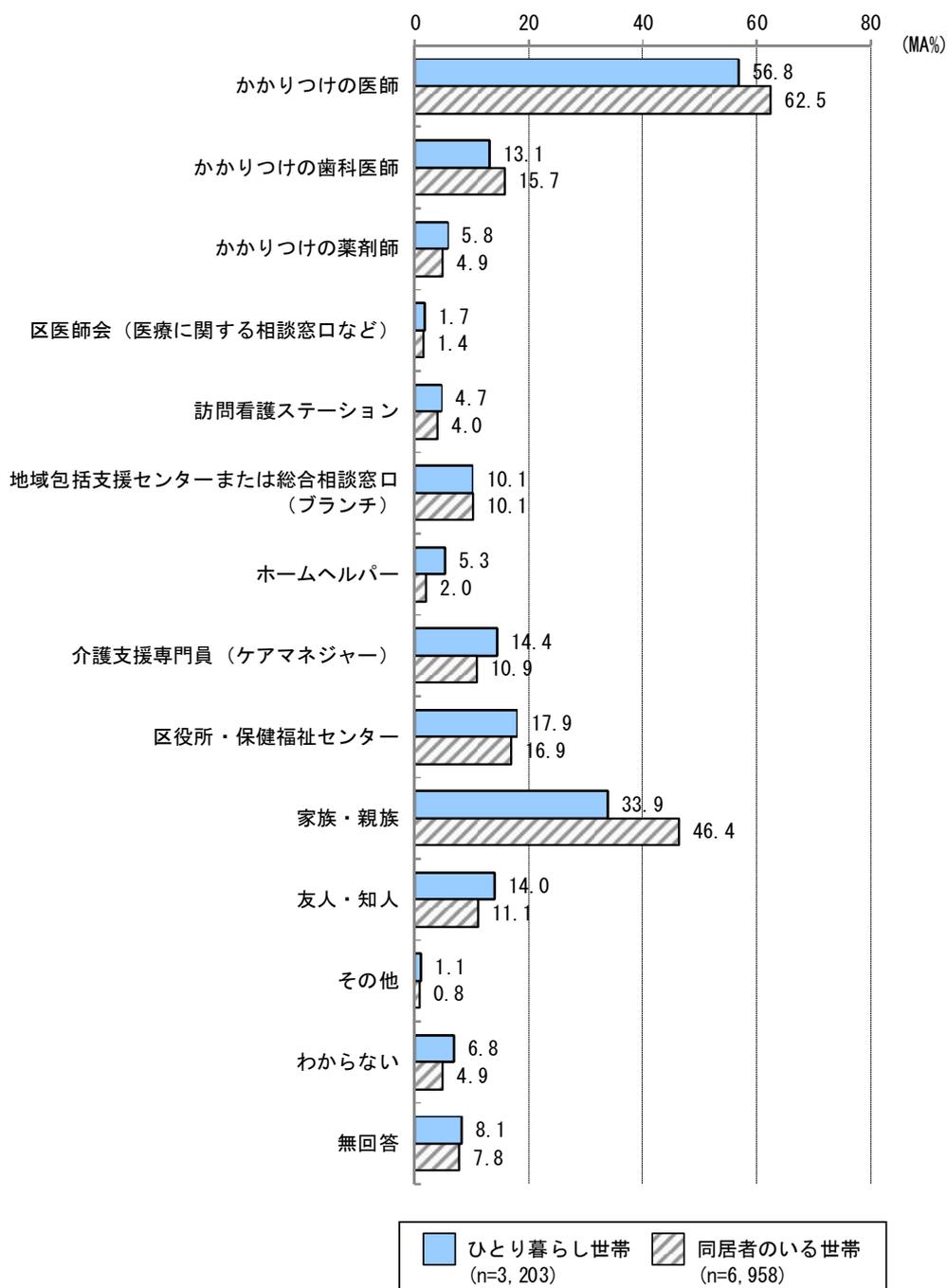
【図13-1 かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無]については、「わからない」が54.7%で最も多く、同居者のいる世帯と同様の傾向となっている。

## 問17 医療の相談先

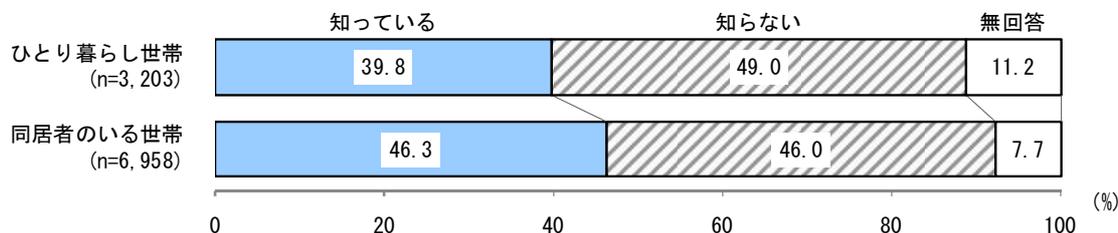
【図17 医療の相談先(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[医療の相談先]については、「かかりつけの医師」が 56.8%で最も多く、次いで「家族・親族」が 33.9%となっているが、どちらも同居者のいる世帯より低い割合になっている。また、「かかりつけの薬剤師」「区医師会(医療に関する相談窓口など)」「訪問看護ステーション」「ホームヘルパー」「介護支援専門員(ケアマネジャー)」「区役所・保健福祉センター」「友人・知人」の回答割合は、同居者のいる世帯より高くなっている。

問18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度

【図18 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度(世帯比較)】

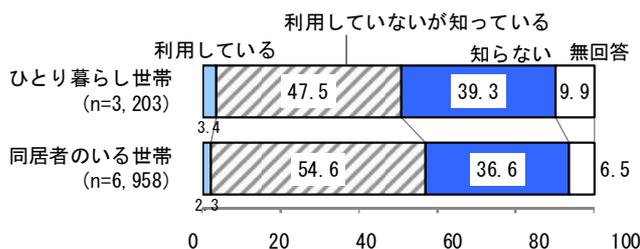


ひとり暮らし世帯の回答者の[希望すれば在宅医療を受けられることの認知度]については、「知っている」が39.8%を占めており、同居者のいる世帯より6.5ポイント低い割合になっている。

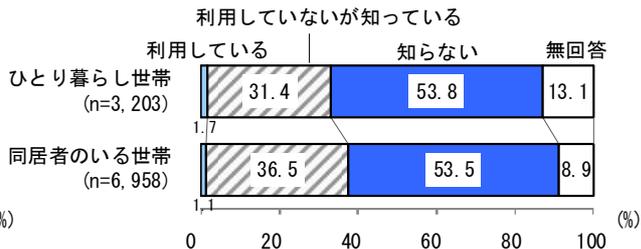
問19 在宅医療の利用状況

【図19 在宅医療の利用状況(世帯比較)】

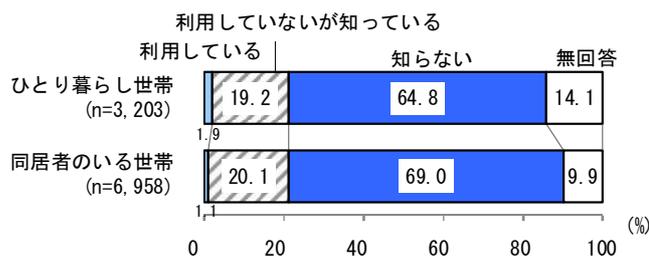
(1) 医師による訪問診療



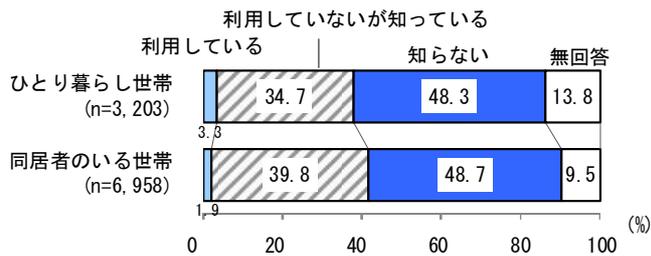
(2) 歯科医師による訪問歯科診療



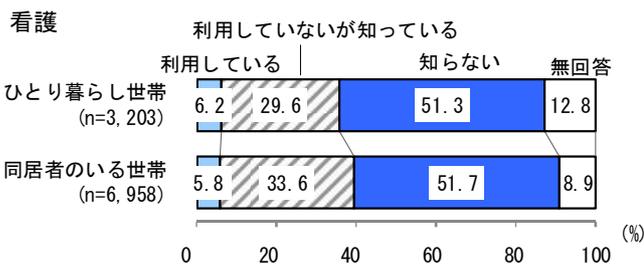
(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導



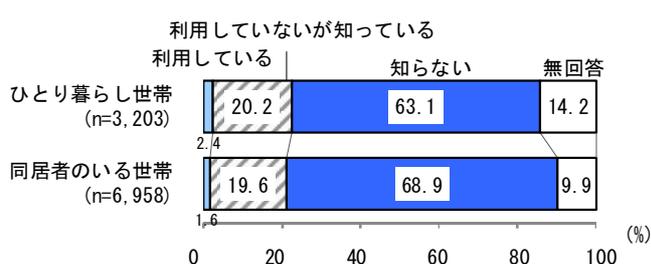
(4) 看護師などによる訪問看護



(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関



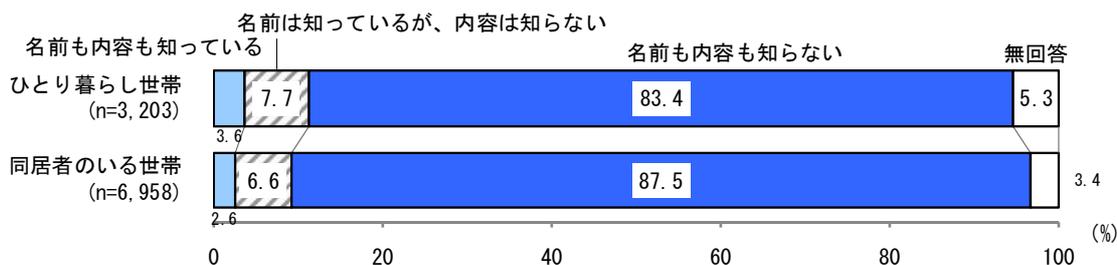
(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護



ひとり暮らし世帯の回答者の[在宅医療の利用状況]について、「利用している」の回答割合は、いずれの項目も同居者のいる世帯より高くなっている。

## 問20 人生会議(ACP)の認知度

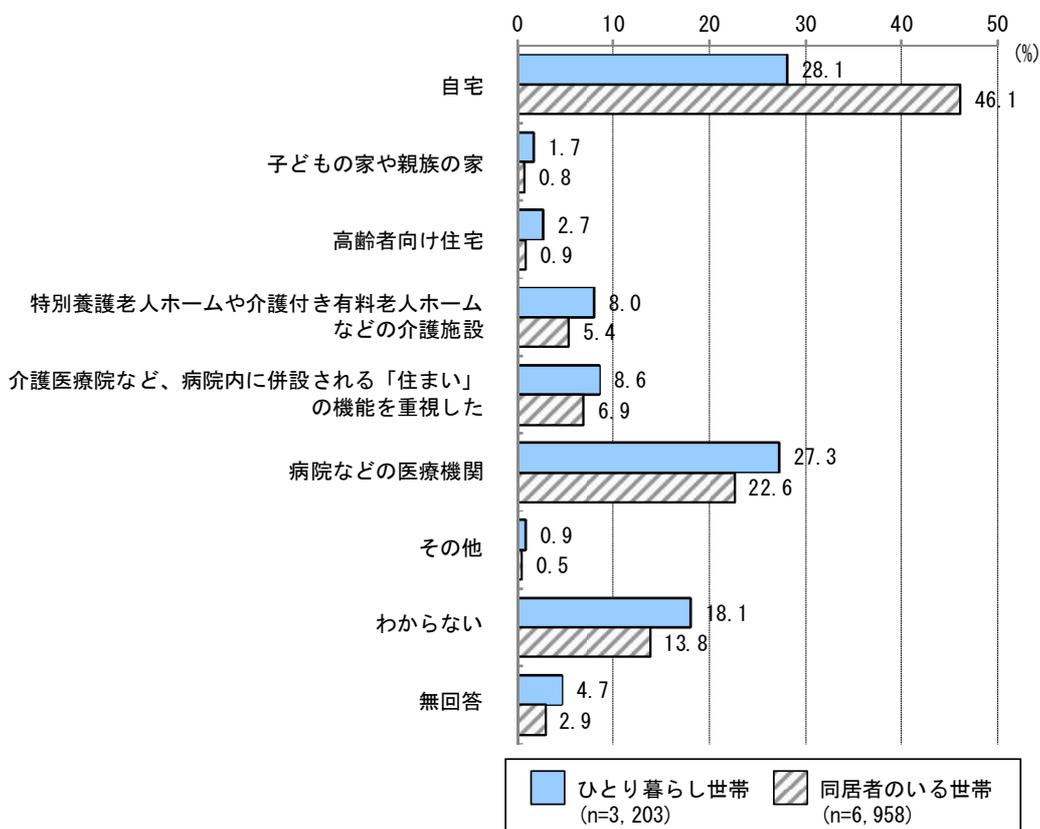
【図20 人生会議(ACP)の認知度(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[人生会議(ACP)の認知度]については、「名前も内容も知っている」が3.6%、「名前は知っているが、内容は知らない」が7.7%で、同居者のいる世帯より高い割合になっている。

## 問21 人生の最終段階に過ごしたい場所

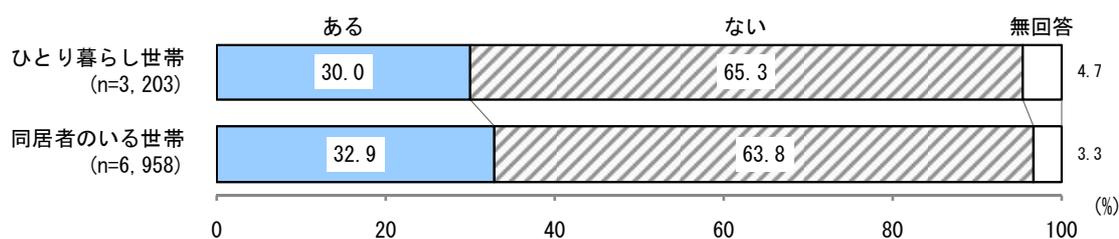
【図21 人生の最終段階に過ごしたい場所(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[人生の最終段階に過ごしたい場所]については、「自宅」が28.1%で最も多いが、同居者のいる世帯より18.0ポイント低い割合になっている。これに次いで、「病院などの医療機関」が27.3%で、同居者のいる世帯より4.7ポイント高い割合になっている。なお、自宅以外の場所では、ひとり暮らし世帯のほうが高い割合になっている。

## 問22 人生の最終段階についての話し合いの有無

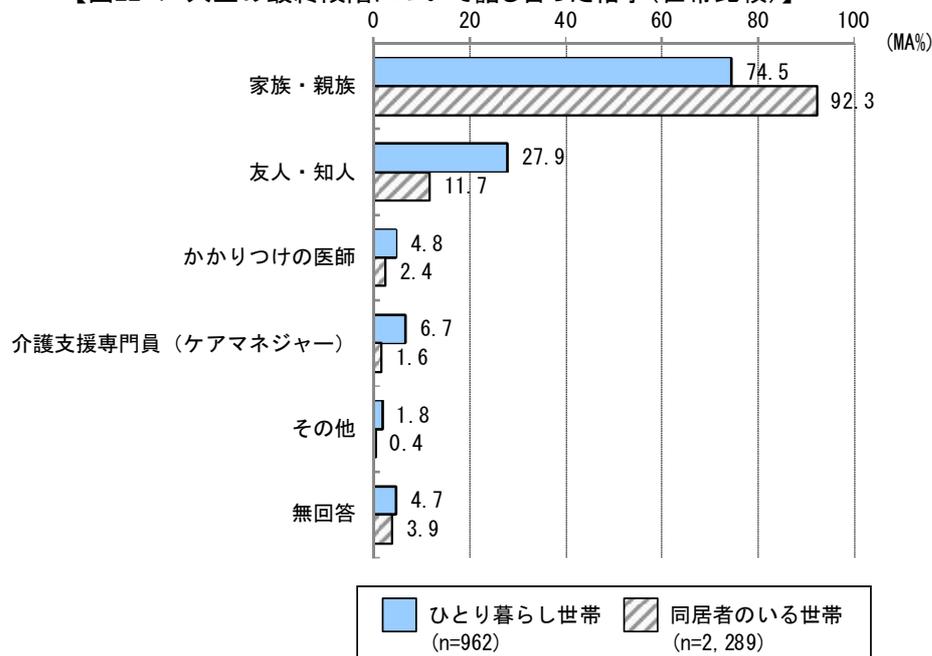
【図22 人生の最終段階についての話し合いの有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[人生の最終段階についての話し合いの有無]については、「ある」が30.0%となっており、同居者のいる世帯より2.9ポイント低い割合になっている。

### 問22-1 人生の最終段階について話し合った相手

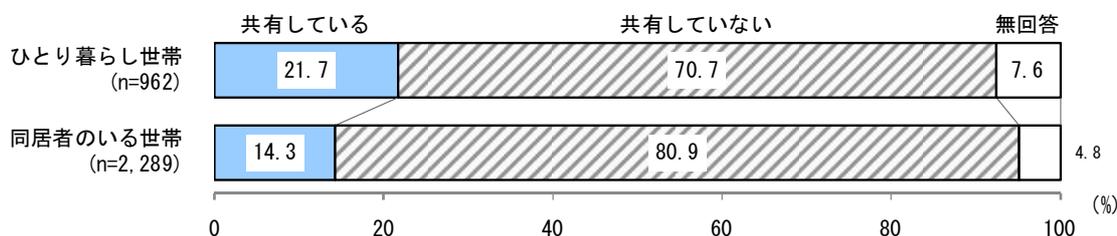
【図22-1 人生の最終段階について話し合った相手(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[人生の最終段階について話し合った相手]については、「家族・親族」が74.5%で最も多いが、同居者のいる世帯より17.8ポイント低い割合になっている。これに次いで、「友人・知人」が27.9%で、同居者のいる世帯より16.2ポイント高い割合になっている。なお、家族・親族以外の相手では、ひとり暮らし世帯のほうが高い割合になっている。

## 問22-2 話し合いで決めた内容の共有有無

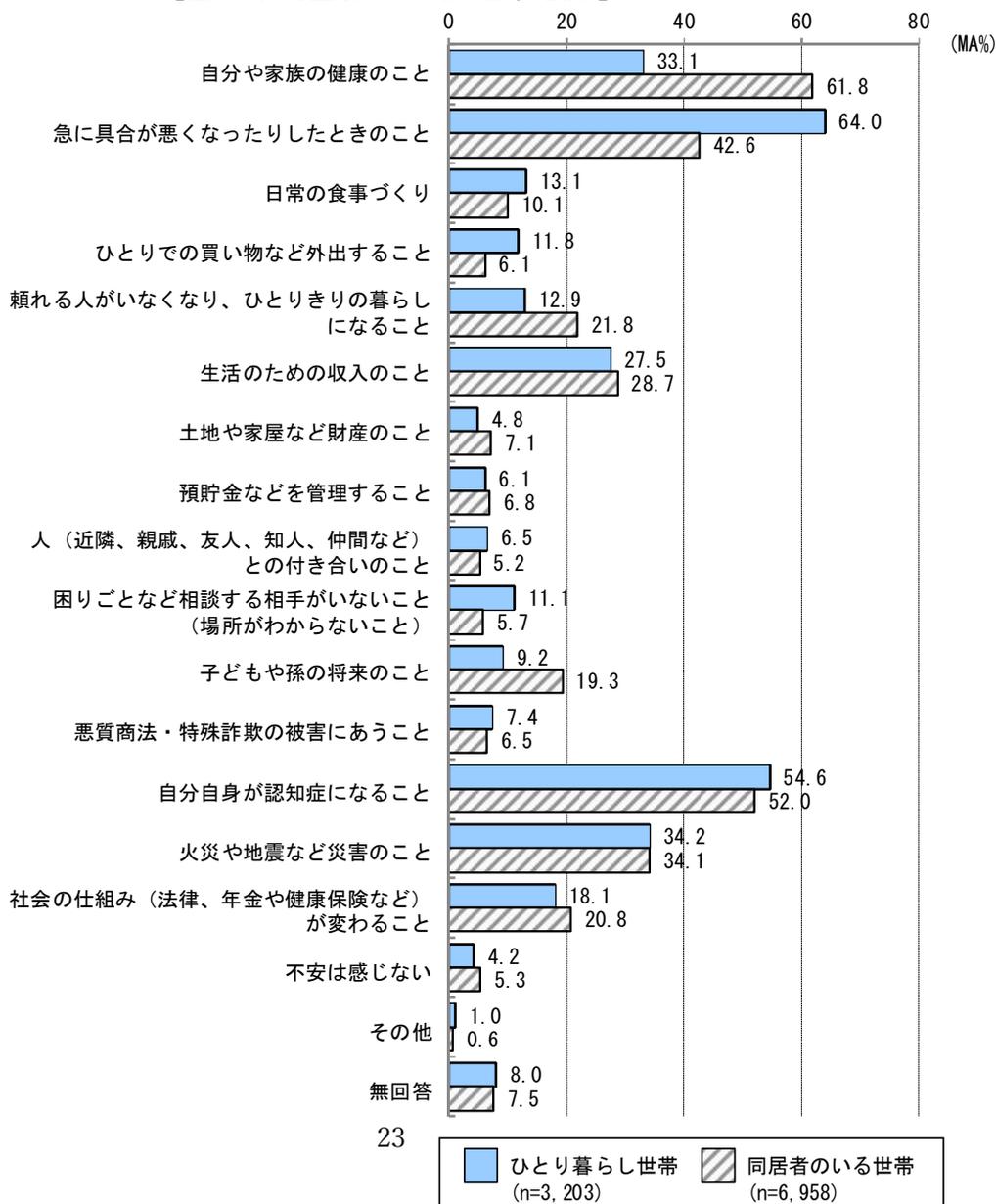
【図22-2 話し合いで決めた内容の共有有無(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[話し合いで決めた内容の共有有無]については、「共有している」が21.7%となっており、同居者のいる世帯より7.4ポイント高い割合になっている。

## 問23 日常生活への不安

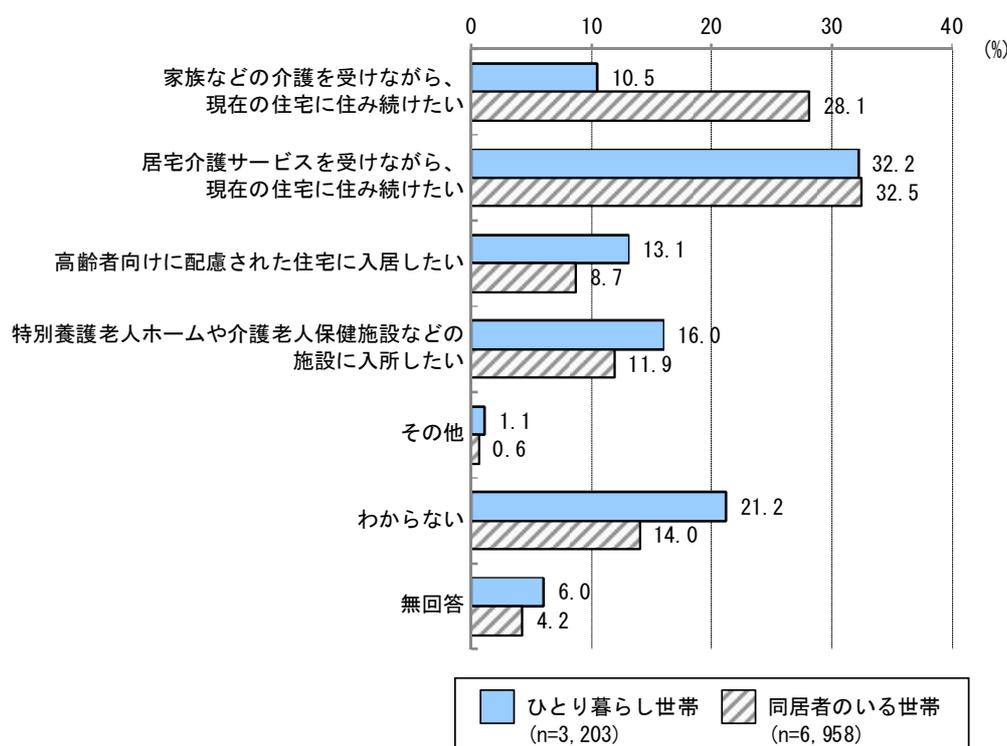
【図23 日常生活への不安(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[日常生活への不安]については、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が64.0%で最も多く、同居者のいる世帯より21.4ポイント高い割合になっている。また、「自分や家族の健康のこと」の回答割合は33.1%で、同居者のいる世帯より28.7ポイント低く、「頼れる人がいなくなり、ひとりきりの暮らしになること」「子どもや孫の将来のこと」の回答割合も同居者のいる世帯より低くなっている。

## 問32 介護が必要になった場合の暮らし方

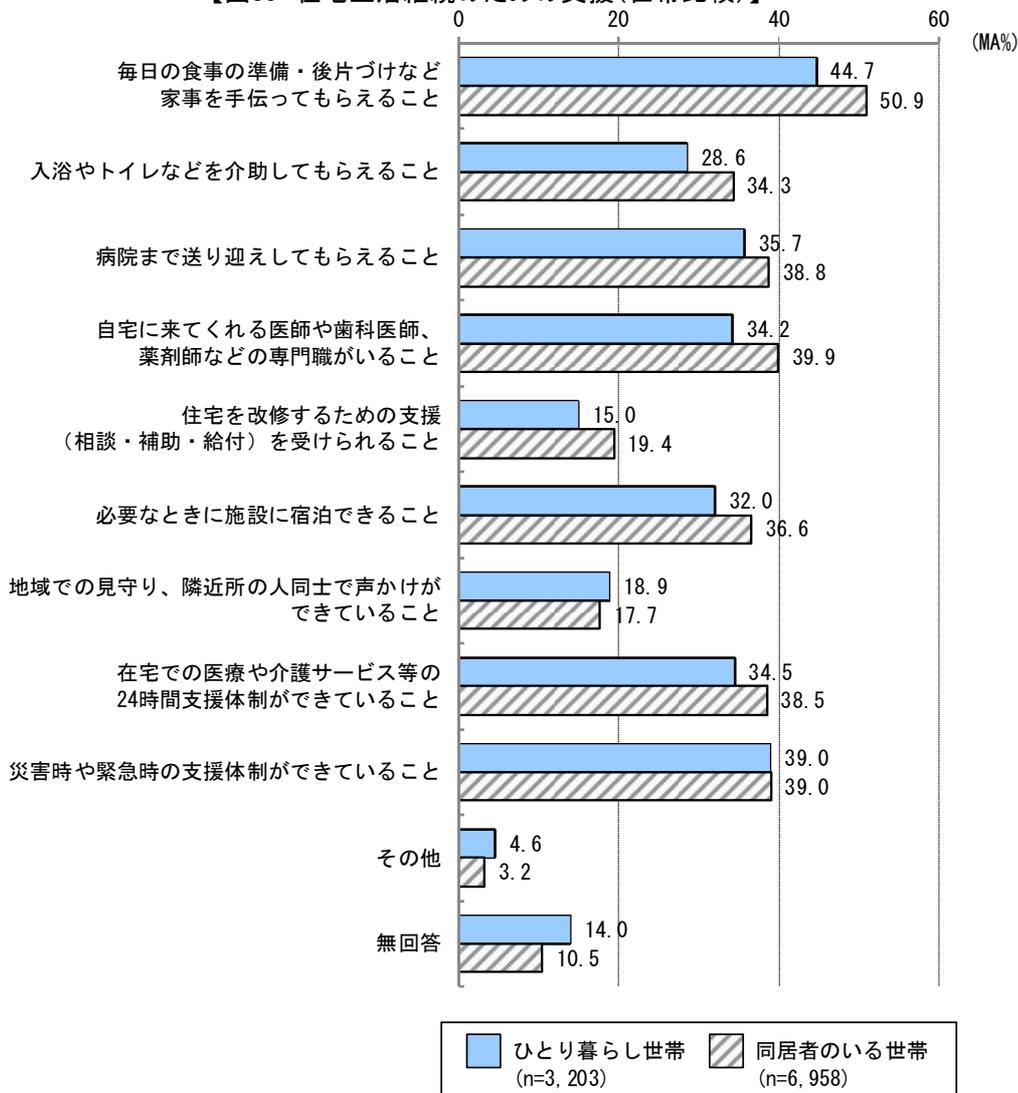
【図32 介護が必要になった場合の暮らし方(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[介護が必要になった場合の暮らし方]については、「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」が32.2%で最も多く、同居者にいる世帯とほぼ同率となっている。また、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の回答割合は同居者のいる世帯より17.6ポイント低く、「高齢者向けに配慮された住宅に入居したい」と「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの施設に入所したい」の回答割合は同居者のいる世帯より4ポイント以上高くなっている。

### 問35 在宅生活継続のための支援

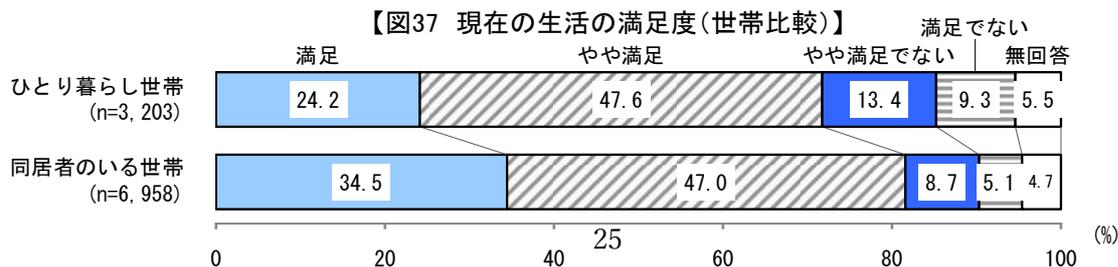
【図35 在宅生活継続のための支援(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[在宅生活継続のための支援]については、「毎日の食事の準備・後片づけなど家事を手伝ってもらえること」が44.7%で最も多いが、同居者のいる世帯より6.2ポイント低い割合になっている。また、「地域での見守り、隣近所の人同士で声かけができていないこと」の回答割合は、同居者のいる世帯よりやや高くなっている。

### 問37 現在の生活の満足度

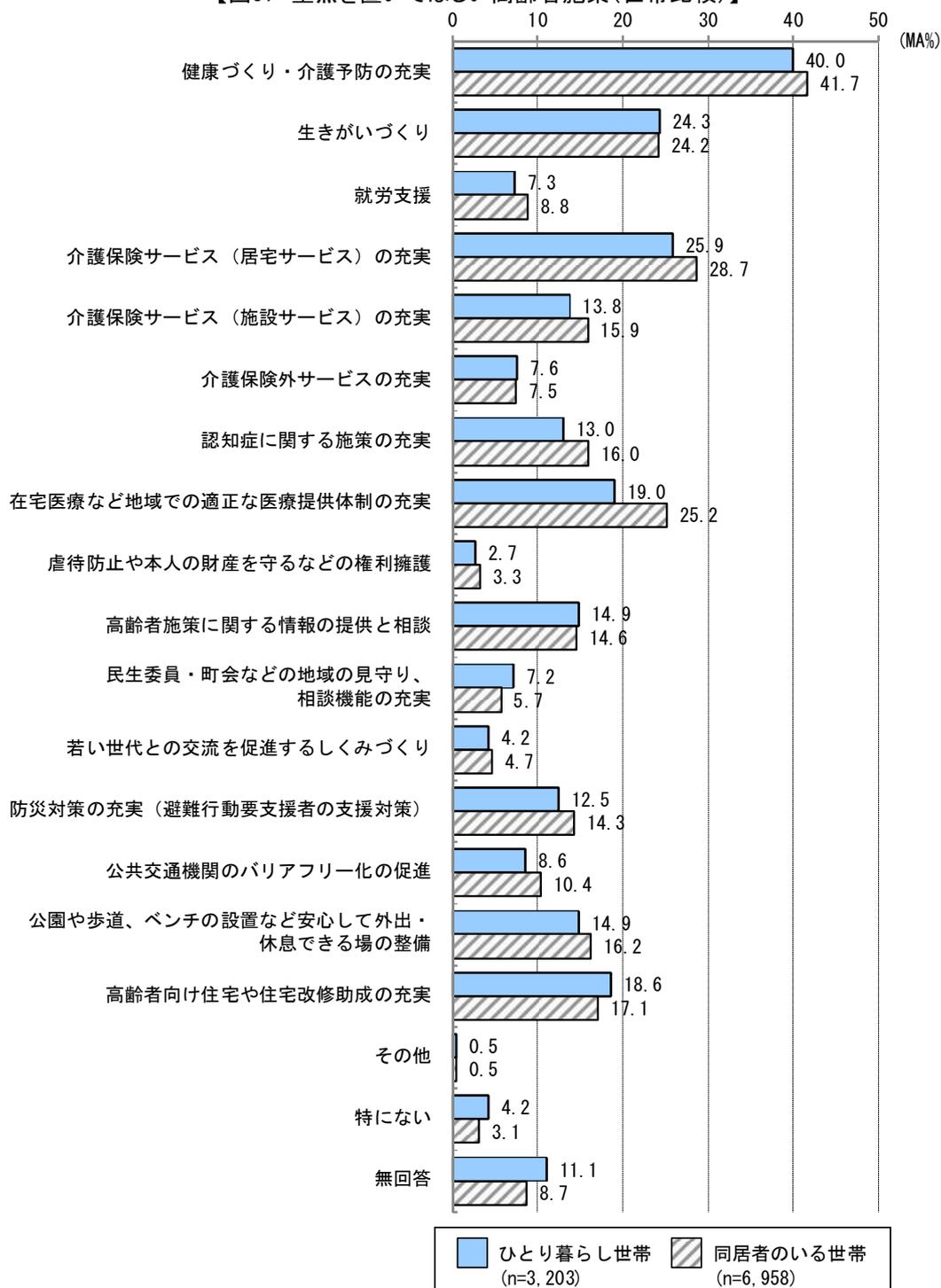
【図37 現在の生活の満足度(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[現在の生活の満足度]については、「やや満足でない」と「満足でない」をあわせた『満足でない』人は22.7%で、同居者のいる世帯より8.9ポイント高い割合になっている。

### 問57 重点を置いてほしい高齢者施策

【図57 重点を置いてほしい高齢者施策(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の[重点を置いてほしい高齢者施策]については、「健康づくり・介護予防の充実」が40.0%で最も多いが、同居者のいる世帯よりやや低い割合になっている。また、「高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実」は18.6%で同居者のいる世帯より1.5ポイント高い割合になっている。

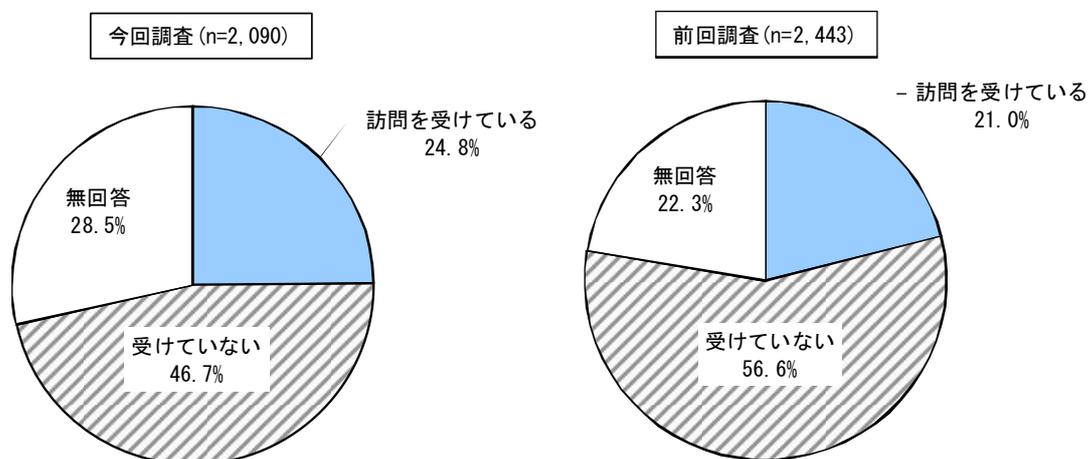
## 【介護保険サービス利用者・未利用者調査及び介護者調査】

### ○介護サービス利用者調査

#### 問9 医療従事者などの訪問有無

【自宅で介護保険サービスを利用されている方のみお答えください。】  
あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

【図9 医療従事者などの訪問有無(経年比較)】



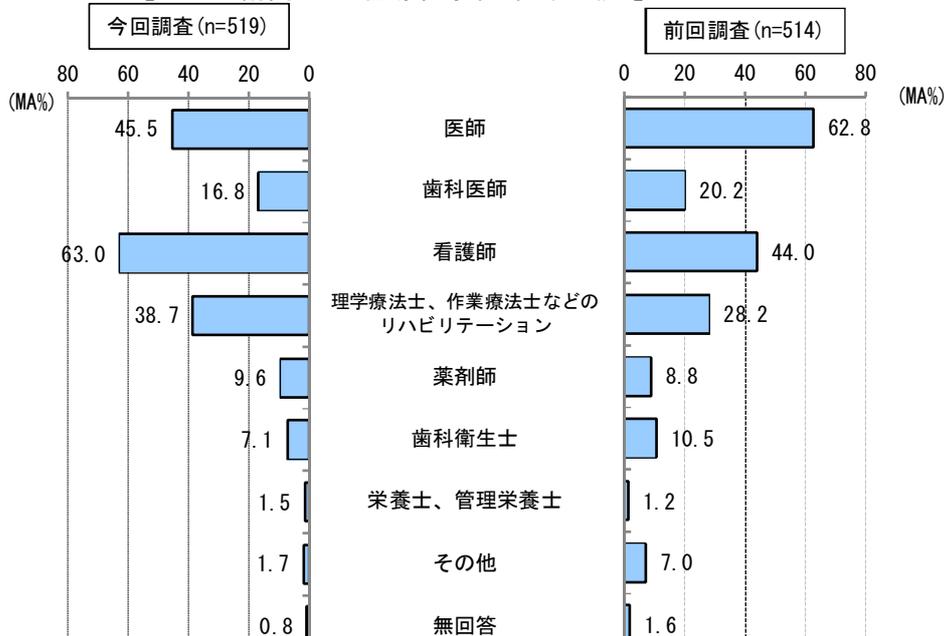
現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が24.8%、「受けていない」が46.7%となっている。

前回調査と比較すると、「訪問を受けている」の割合が3.8ポイント高くなっている。

問9-1 訪問される医療従事者

【問9で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

【図9-1 訪問される医療従事者(経年比較)】



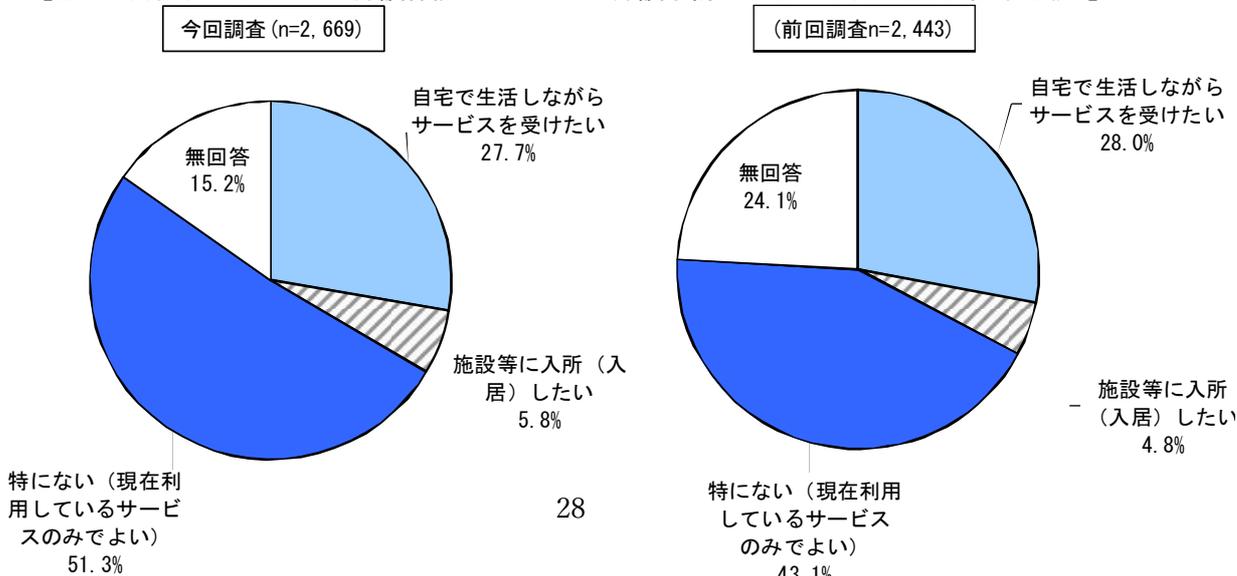
医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」が63.0%で最も多く、次いで「医師」が45.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」が38.7%となっている。

前回調査と比較すると、「医師」の割合が17.3ポイント低くなっている。また、「看護師」の割合は19.0ポイント、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」の割合は10.5ポイント高くなっている。

問12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

【図12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向(経年比較)】



※前回調査には“介護予防サービス”は含まれていない。

現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向については、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が27.7%、「施設等に入所(入居)したい」は5.8%となっている。「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」は51.3%となっている。

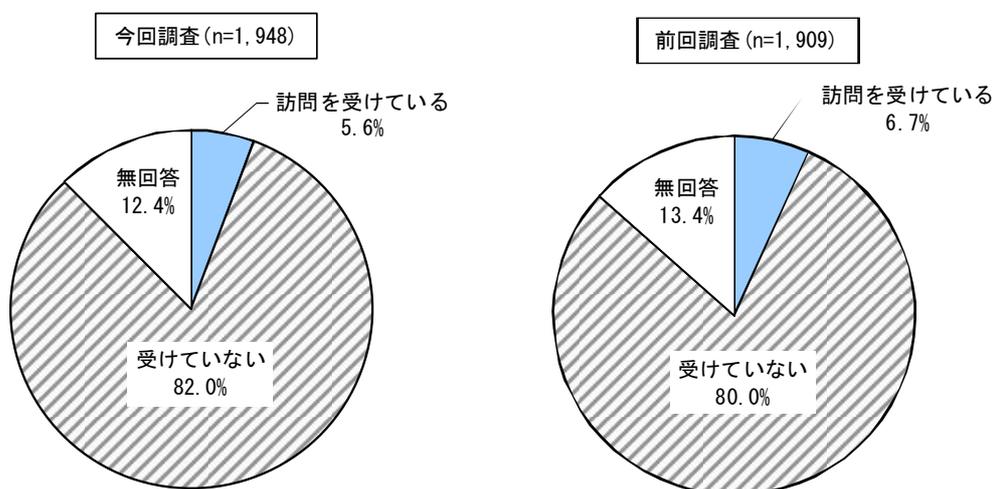
前回調査に“介護予防サービス”が含まれていないので一概に比較はできないが、参考としてみると、傾向は大きくは変わらない。

## ○サービス未利用者調査

### 問10 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

【図10 医療従事者などの訪問有無(経年比較)】



現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が5.6%、「受けていない」が82.0%となっている。

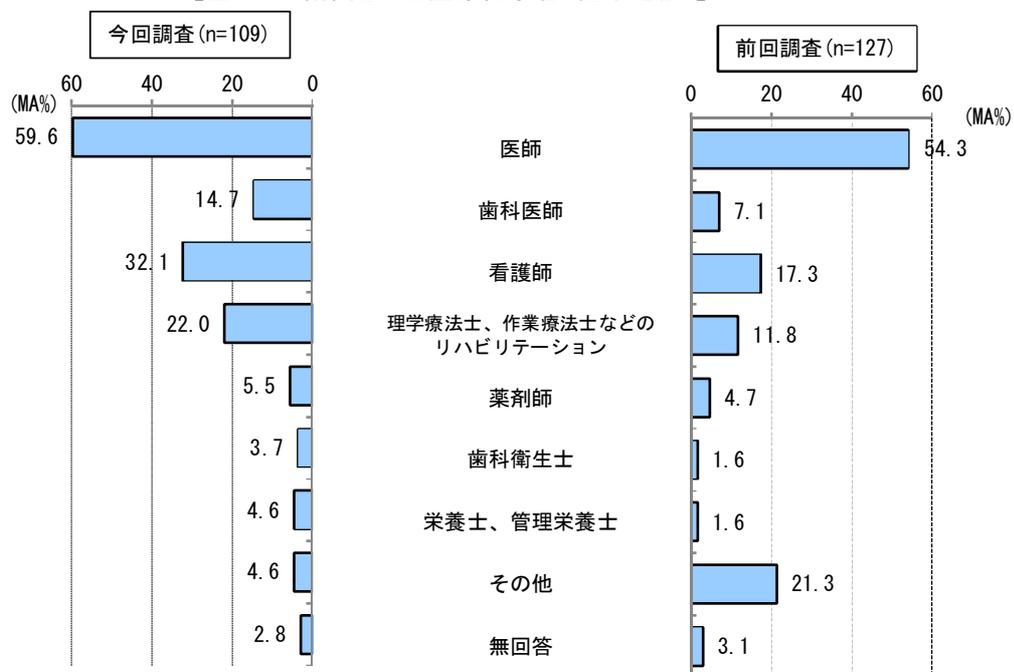
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。

## 問10-1 訪問される医療従事者

【問10で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

【図10-1 訪問される医療従事者(経年比較)】



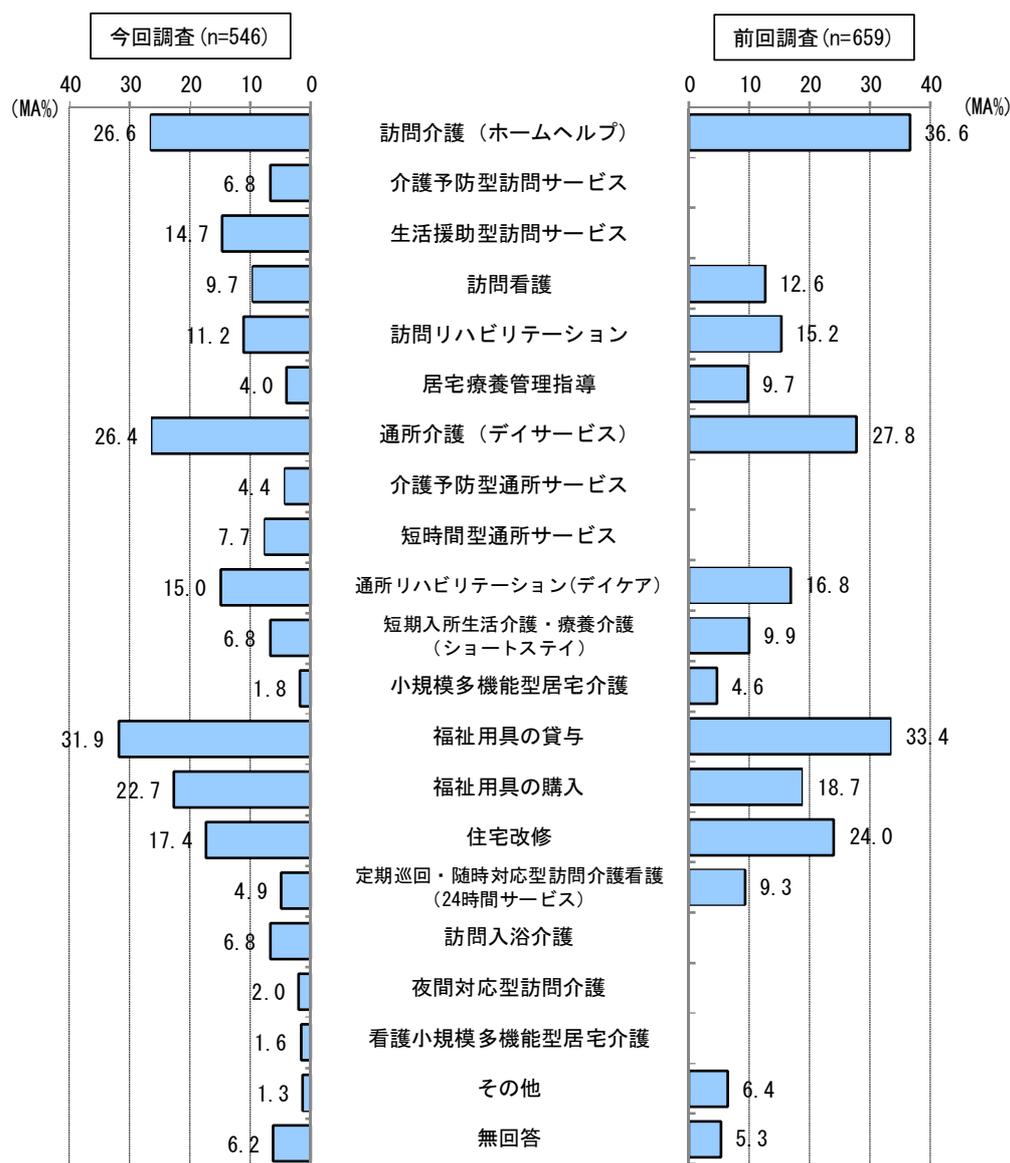
医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」が59.6%で最も多く、次いで「看護師」が32.1%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」が22.0%となっている。

前回調査と比較すると、「看護師」の割合が 14.8 ポイント、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」の割合が 10.2 ポイント、それぞれ高くなっている。

問 12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

【問11で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。】あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【図12 利用したい居宅サービス(経年比較)】



※「介護予防型訪問サービス」「生活援助型訪問サービス」「介護予防型通所サービス」「短時間型通所サービス」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」は、今回調査の新規項目である。

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が31.9%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプ)」が26.6%、「通所介護(デイサービス)」が26.4%となっている。

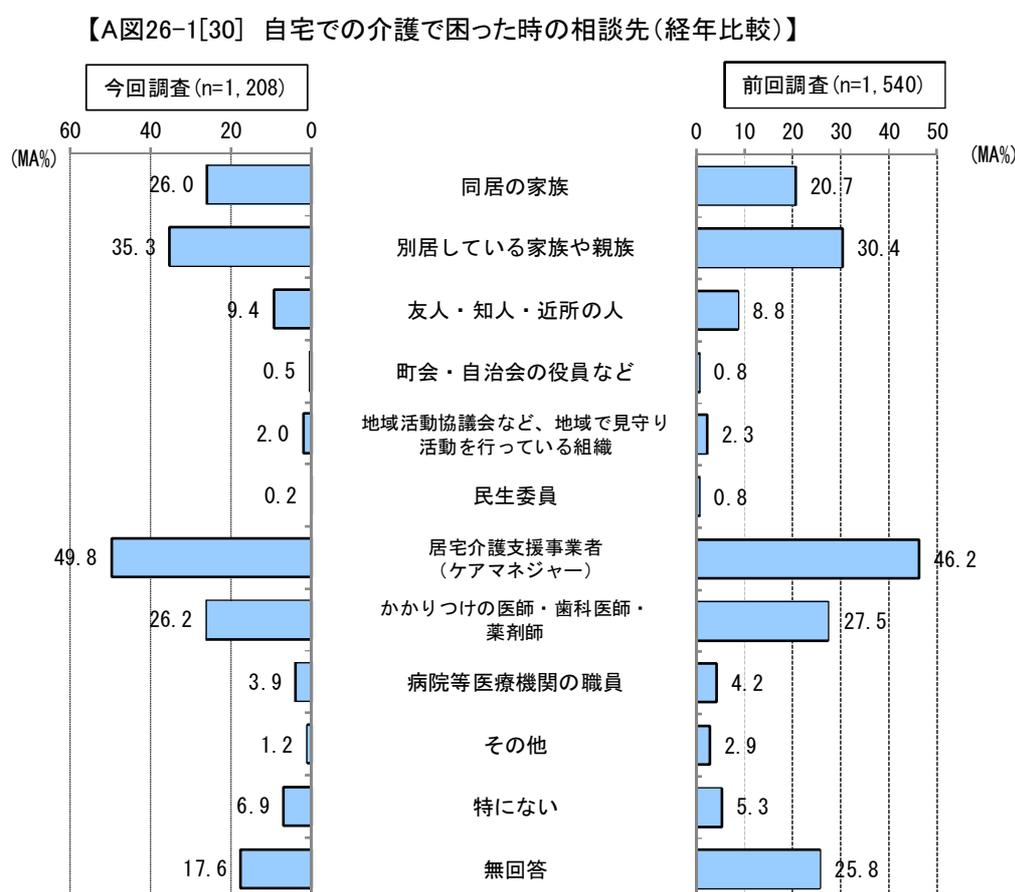
前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、上記3つが多い傾向は変わらない。

## ○介護者調査

問26-1[30] 自宅での介護で困った時の相談先

問26[問29]の相談窓口以外で、主な介護者が、自宅での介護を行ううえで困った時はどちらに相談していますか。(〇はいくつでも)

<A. サービス利用者>



自宅でのサービス利用者の介護で困った時の相談先については、「居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)」が49.8%で最も多く、次いで「別居している家族や親族」が35.3%、「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」が26.2%となっている。

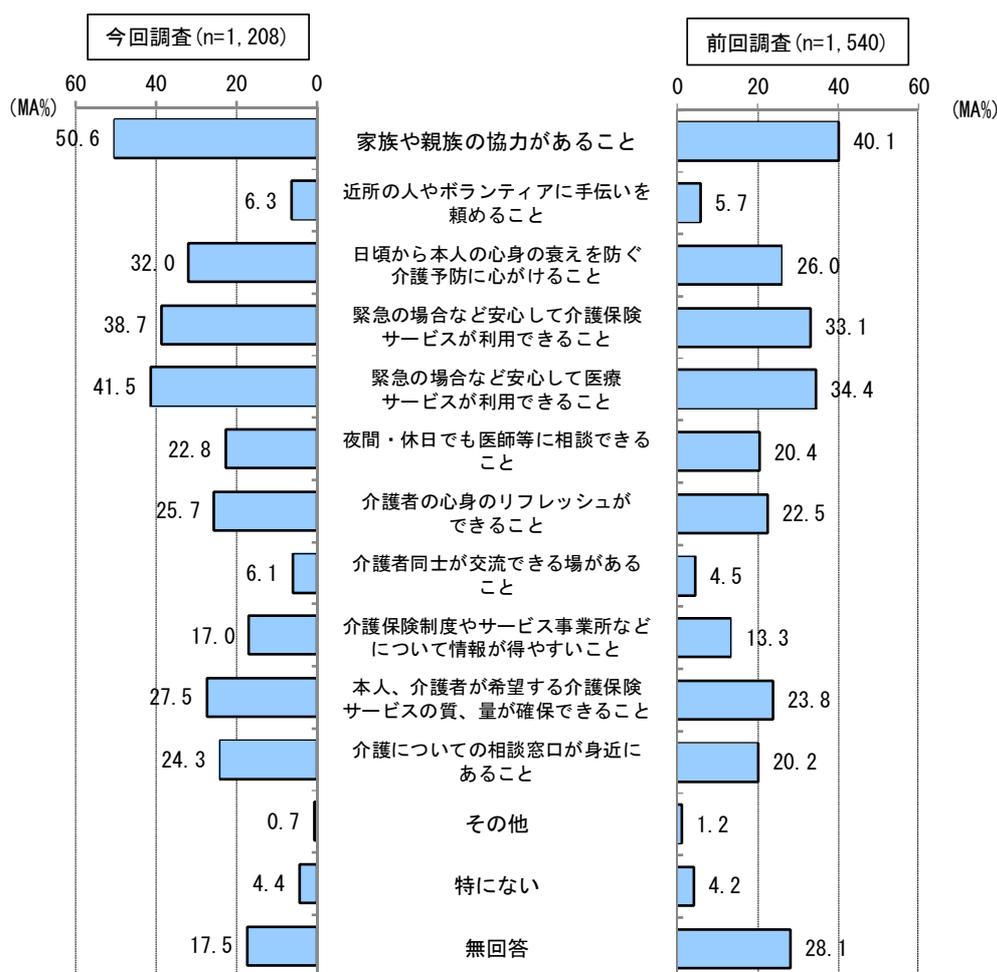
前回調査と比較すると、「同居の家族」の割合が5.3ポイント高くなっている。

問 29(34) 在宅での介護を続けるために重要なこと

主な介護者にとって、在宅での介護にあたって重要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

<A. サービス利用者>

【A図29[34] 在宅での介護で重要なこと(経年比較)】



在宅でのサービス利用者の介護で重要なことについては、「家族や親族の協力があること」が50.6%で最も多く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が41.5%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が38.7%となっている。

前回調査と比較すると、「家族や親族の協力があること」の割合が 10.5 ポイント、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」の割合が 7.1 ポイントそれぞれ高くなっている。

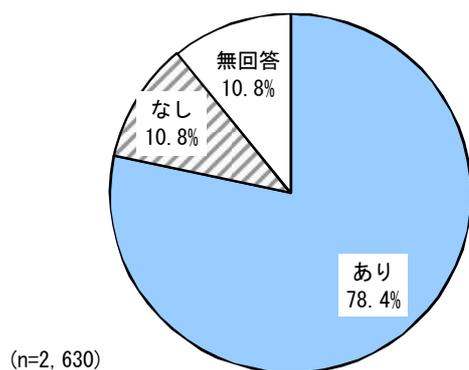
## 【介護支援専門員調査】

### 問8-2 利用者にかかる医療的な処置等の状況

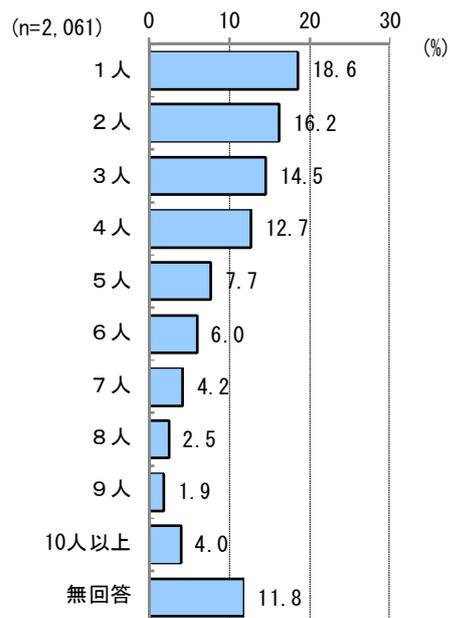
#### ①医療的な処置等が必要な利用者の有無

問7(1)で記入された利用者にかかる医療的な処置等について、人数内訳と種類をお答えください。

【図8-2① 医療的な処置等が必要な利用者の有無】



【付図8-2① 医療的な処置等が必要な利用者数】

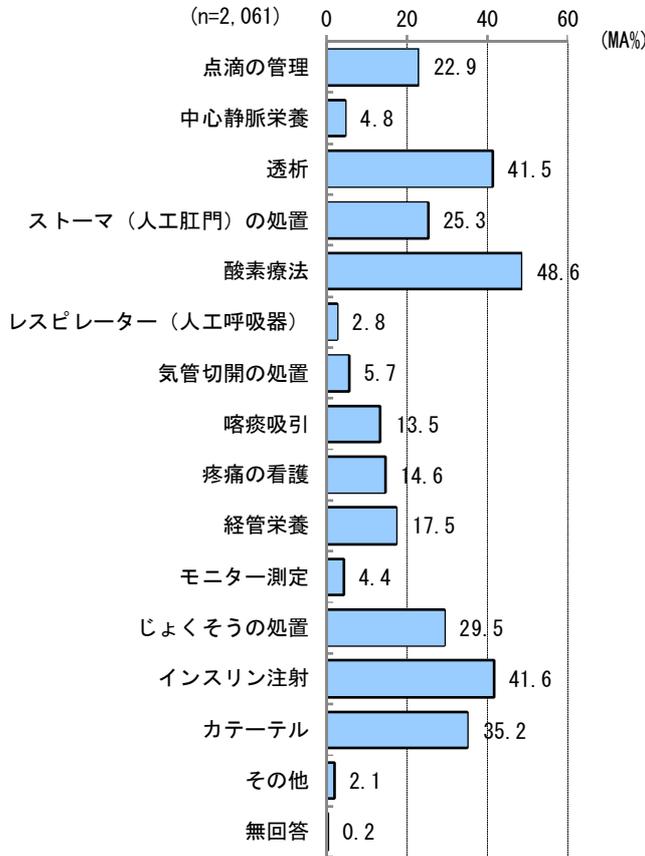


担当している利用者で、医療的な処置等が必要な利用者の有無については、「あり」が78.4%、「なし」が10.8%となっている。

また、その利用者数では、「1人」が18.6%で最も多く、次いで「2人」が16.2%、「3人」が14.5%となっている。

②医療的な処置等にかかる種類及び人数

【図8-2② 医療的な処置等にかかる種類】



【付表8-2② 医療的な処置等にかかる各種数】

| 医療的な処置等        | 人数 (人) |
|----------------|--------|
| 点滴の管理          | 472    |
| 中心静脈栄養         | 98     |
| 透析             | 856    |
| ストーマ（人工肛門）の処置  | 521    |
| 酸素療法           | 1,001  |
| レスピレーター（人工呼吸器） | 58     |
| 気管切開の処置        | 118    |
| 喀痰吸引           | 278    |
| 疼痛の看護          | 301    |
| 経管栄養           | 361    |
| モニター測定         | 91     |
| じょくそうの処置       | 608    |
| インスリン注射        | 857    |
| カテーテル          | 726    |
| その他            | 44     |
| 合計             | 6,390  |

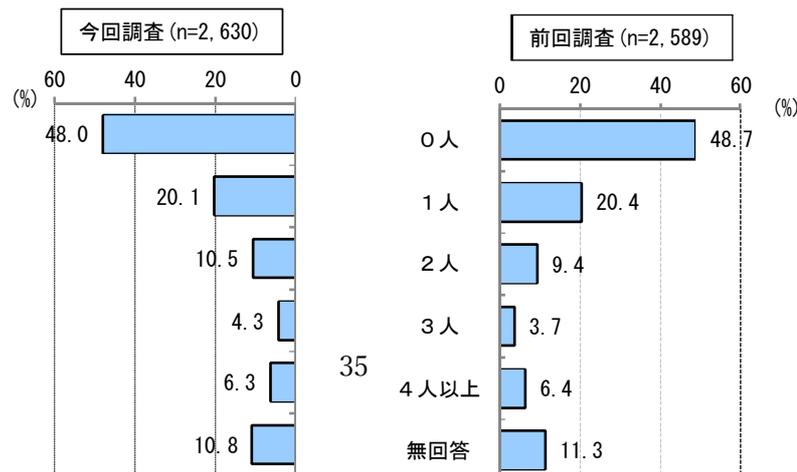
医療的な処置等にかかる種類については、「酸素療法」が48.6%で最も多く、次いで「インスリン注射」が41.6%、「透析」が41.5%となっている。（図8-2②）

医療的な処置等にかかる人数については、「酸素療法」が 1,001 人、「インスリン注射」が 857 人、「透析」が 856 人となっている。

問8-3 終末期を在宅で迎える利用者数

問7(1)で記入された利用者のうち、終末期を在宅で迎える方をどれくらい担当していますか。

【図8-3 終末期を在宅で迎える利用者数（経年比較）】



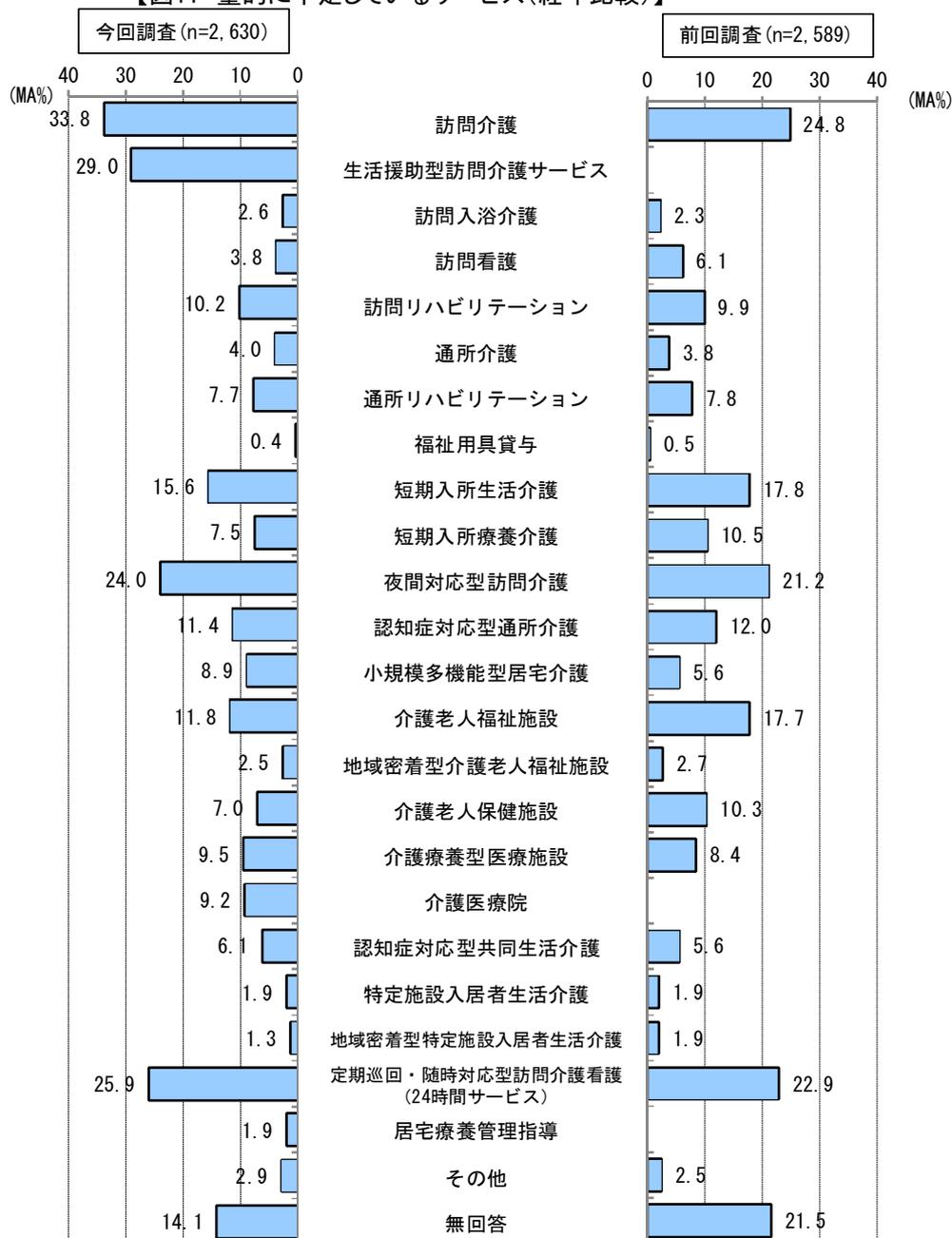
終末期を在宅で迎える利用者数については、「0人」が48.0%で最も多く、次いで「1人」が20.1%、「2人」が10.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。

### 問11 量的に不足しているサービス

事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。  
(○はいくつでも)

【図11 量的に不足しているサービス(経年比較)】



※「生活援助型訪問介護サービス」「介護医療院」「居宅療養管理指導」は、今回調査の新規項目である。

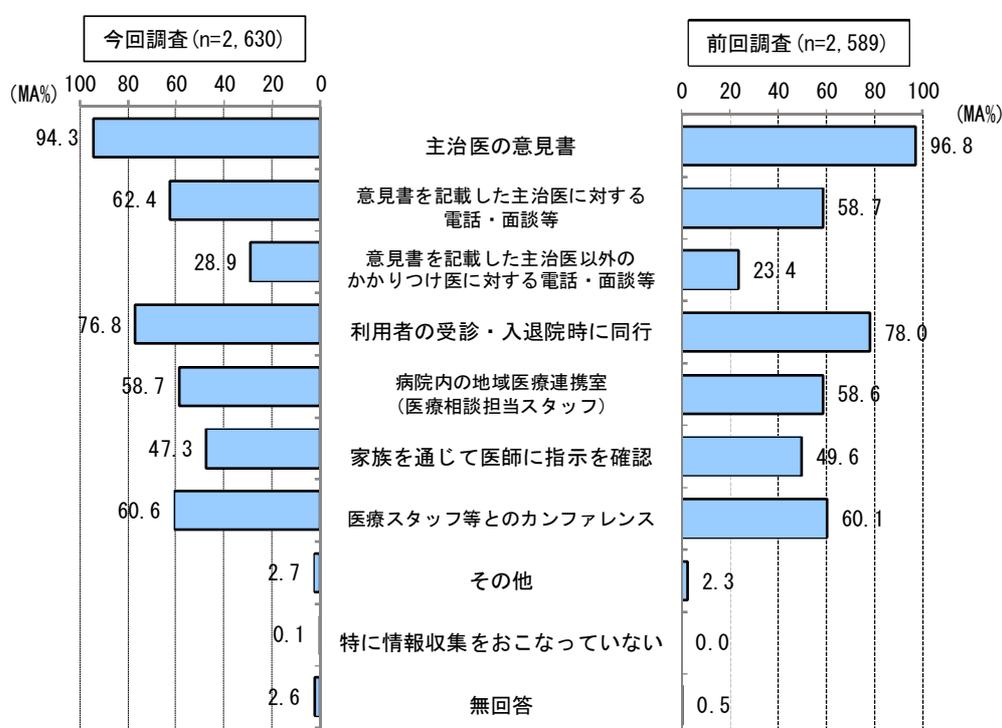
量的に不足しているサービスについては、「訪問介護」が33.8%で最も多く、次いで「生活援助型訪問介護サービス」が29.0%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)」が25.9%、「夜間対応型訪問介護」が24.0%となっている。

前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、「訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)」「夜間対応型訪問介護」が多い傾向は変わらない。

### 問17 医療に関する情報収集方法

ケアプランの作成にあたって、医療に関する情報収集をどのようにおこなっていますか。  
(○はいくつでも)

【図17 医療に関する情報収集方法(経年比較)】



医療に関する情報収集方法については、「主治医の意見書」が94.3%で最も多く、次いで「利用者の受診・入退院時に同行」が76.8%、「意見書を記載した主治医に対する電話・面談等」が62.4%となっている。

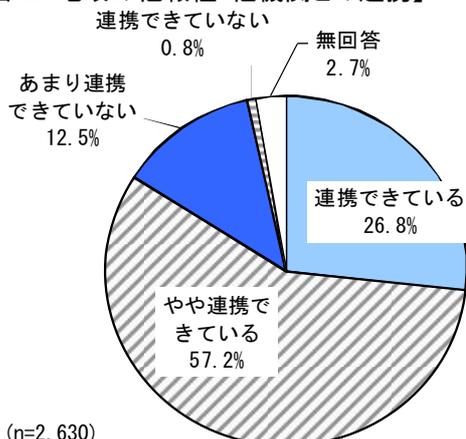
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。

### 問18 地域のお職種・お機関との連携

医療と介護の連携についておうかがいます。

貴事業所は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報、共有等）できていると思いますか。（○はひとつ）

【図18 地域のお職種・お機関との連携】

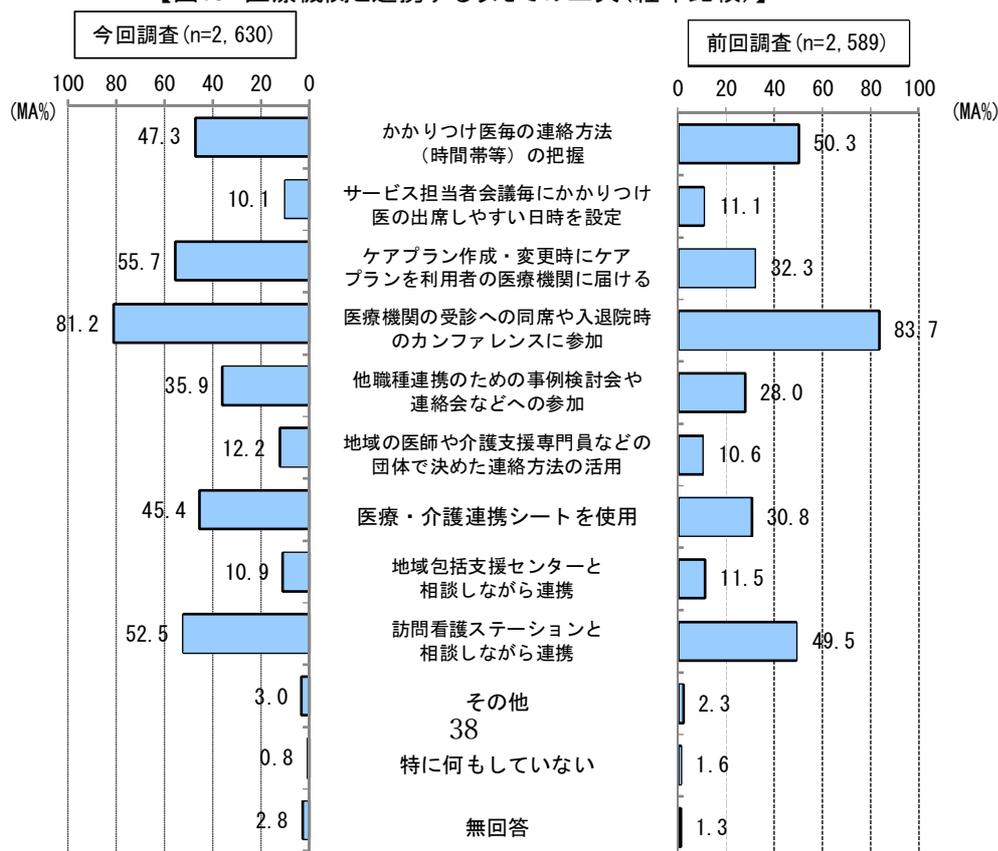


地域のお職種・お機関との連携については、「やや連携できている」が 57.2%で最も多く、次いで「連携できている」が 26.8%、「あまり連携できていない」が 12.5%であり、『連携できている』（「連携できている」と「やや連携できている」の合計）割合は 84.0%となっている。

### 問19 医療機関と連携するうえでの工夫

医療機関（かかりつけ医等）と連携するうえでどのような工夫をおこなっていますか。（○はいくつでも）

【図19 医療機関と連携するうえでの工夫（経年比較）】



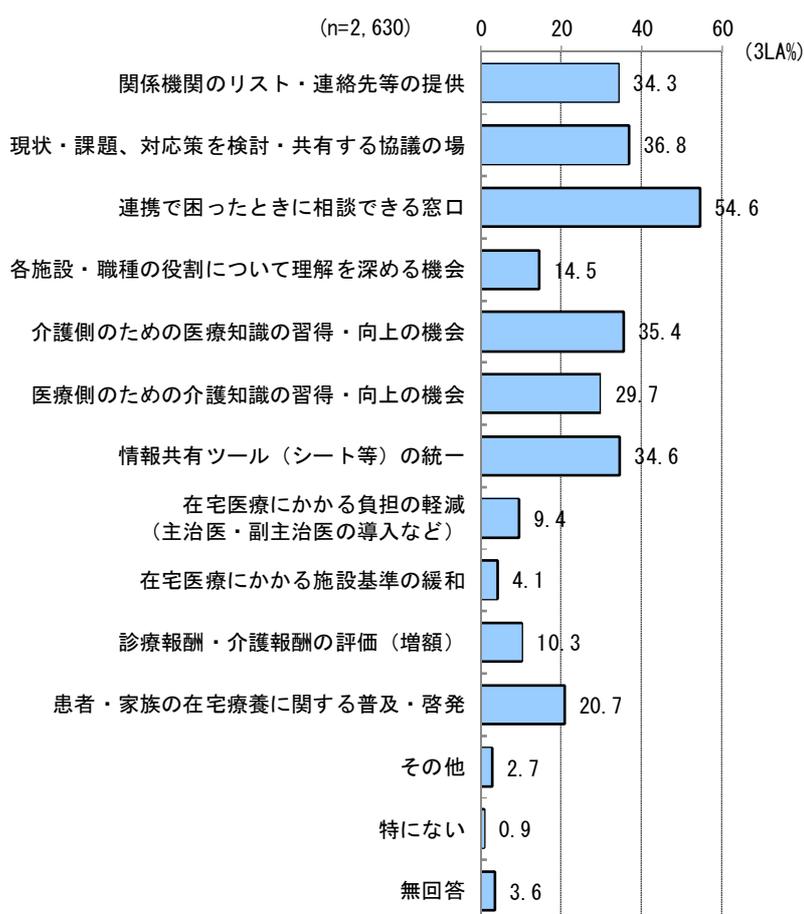
医療機関と連携するうえでの工夫については、「医療機関の受診への同席や入退院時のカンファレンスに参加」が81.2%で最も多く、次いで「ケアプラン作成・変更時にケアプランを利用者の医療機関に届ける」が55.7%、「訪問看護ステーションと相談しながら連携」が52.5%となっている。

前回調査と比較すると、「ケアプラン作成・変更時にケアプランを利用者の医療機関に届ける」の割合が 23.4 ポイント、「医療・介護連携シートを使用」の割合が 14.6 ポイント、「他職種連携のための事例検討会や連絡会などへの参加」の割合が 7.9 ポイント、それぞれ高くなっている。

## 問20 在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと

在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておうかがいします。  
(必要性の高いものから順に3つまで○)

【図20 在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと】

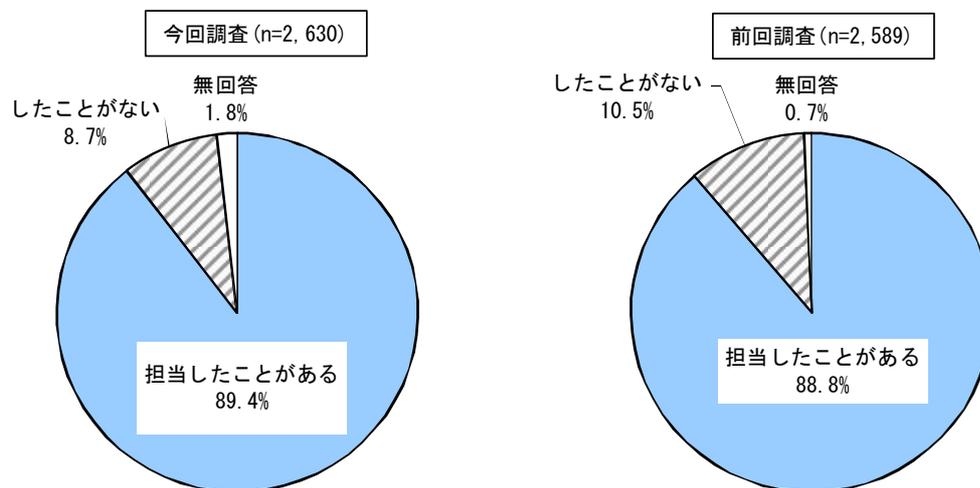


在宅医療・介護連携の推進のために必要なことについては、「連携で困ったときに相談できる窓口」が 54.6%で最も多く、次いで「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が 36.8%、「介護側のための医療知識の習得・向上の機会」が 35.4%となっている。

問21 病院・施設等を入退所する利用者の担当経験の有無

この1年間に病院・介護保険施設等に入院・入所、または、病院・介護保険施設等を退院・退所する利用者を担当したことがありましたか。(〇はひとつ)

【図21 病院・施設等を入退所する利用者の担当経験の有無(経年比較)】



※選択肢の変換:「はい」→「担当したことがある」、「いいえ」→「したことがない」

この1年間で病院・施設等を入退所する利用者を担当したことがあるかについては、「担当したことがある」が89.4%、「したことがない」が8.7%となっている。

そのうち、入院・入所の平均人数は8.0人、退院・退所の平均人数は6.5人となっている。前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっている。

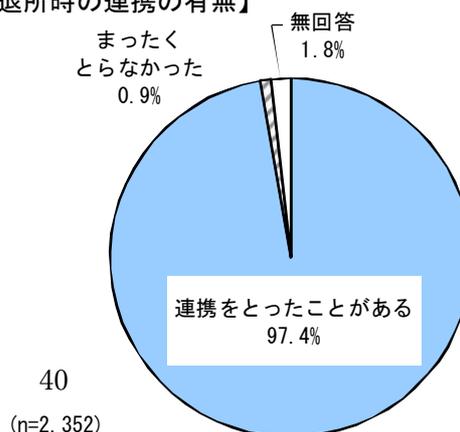
問22 入退所する病院・施設等との連携

①入退所時の連携の有無

【問21で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

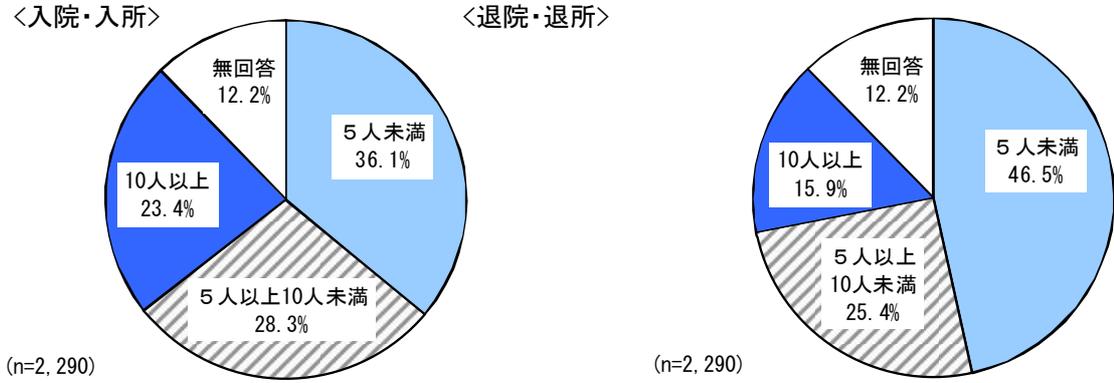
入院・入所又は退院・退所する病院・施設と入院・入所時、退院・退所時に連携をとりましたか。ひとりでも連携をとった場合は「はい」、まったくとらなかった場合は「いいえ」としてください。

【図22① 入退所時の連携の有無】



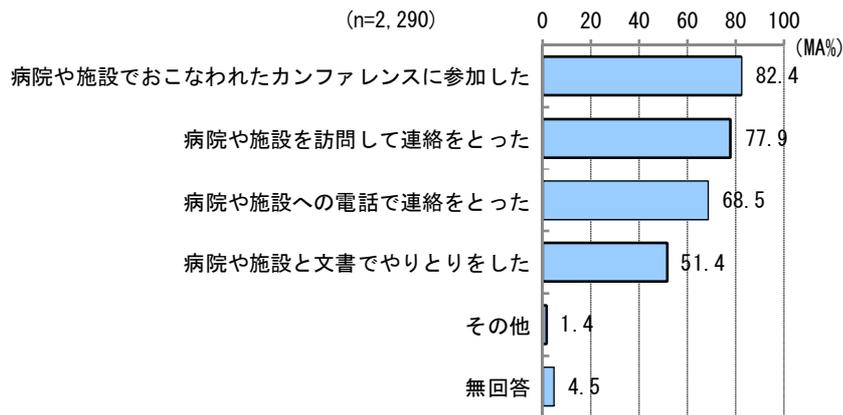
②連携をとった人数(①で「1 はい(連携をとったことがある)」と回答された方のみ)

【図22② 連携をとった人数】



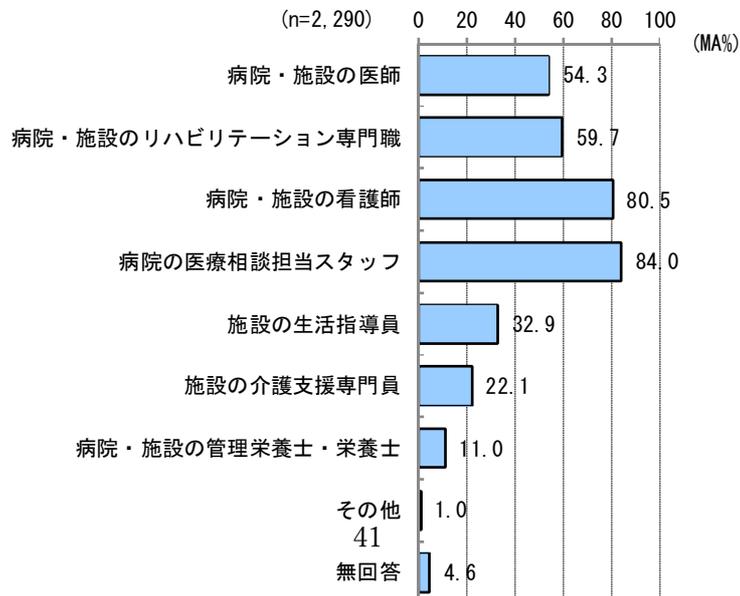
③連携方法(①で「1 はい(連携をとったことがある)」と回答された方のみ)

【図22③ 連携方法】



④連携先(①で「1 はい(連携をとったことがある)」と回答された方のみ)

【図22④ 連携先】



病院・施設等を入退所する利用者を担当したことがあると回答した人に、入退所する病院・施設等との連携をたずねた。

連携の有無については、「連携をとったことがある」が97.4%、「まったくとらなかった」が0.9%となっている。

連携をとったと回答した人に、連携をとった人数をたずねると、入院・入所時に連携をとった人数は、「5人未満」が36.1%「5人以上10人未満」が28.3%となっている。退院・退所時に連携をとった人数は、「5人未満」が46.5%、「5人以上10人未満」が25.4%となっている。

連携方法については、「病院や施設で行われたカンファレンスに参加した」が82.4%で最も多く、次いで「病院や施設を訪問して連絡をとった」が77.9%となっている。

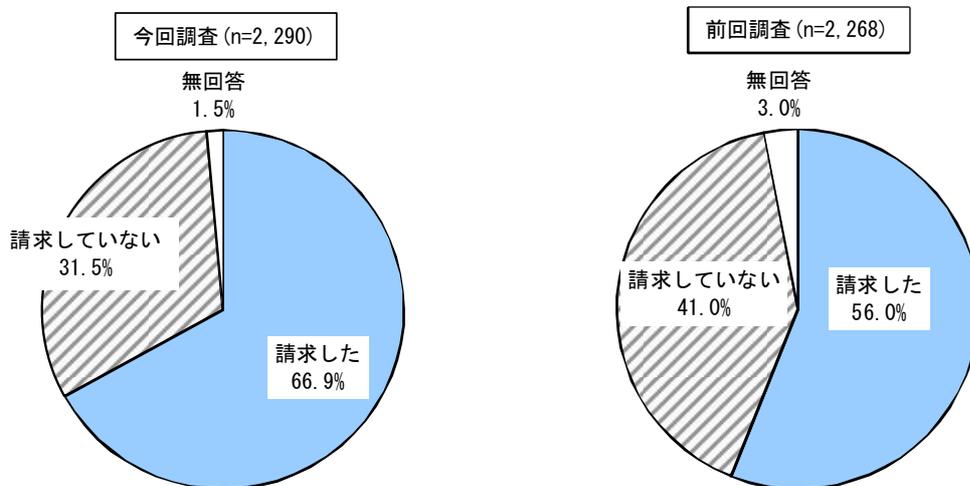
連携先については、「病院の医療相談担当スタッフ」が84.0%で最も多く、次いで「病院・施設の看護師」が80.5%、「病院・施設のリハビリテーション専門職」が59.7%となっている。

#### 問22-1 病院・施設との連携のための加算請求の有無

【問22で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

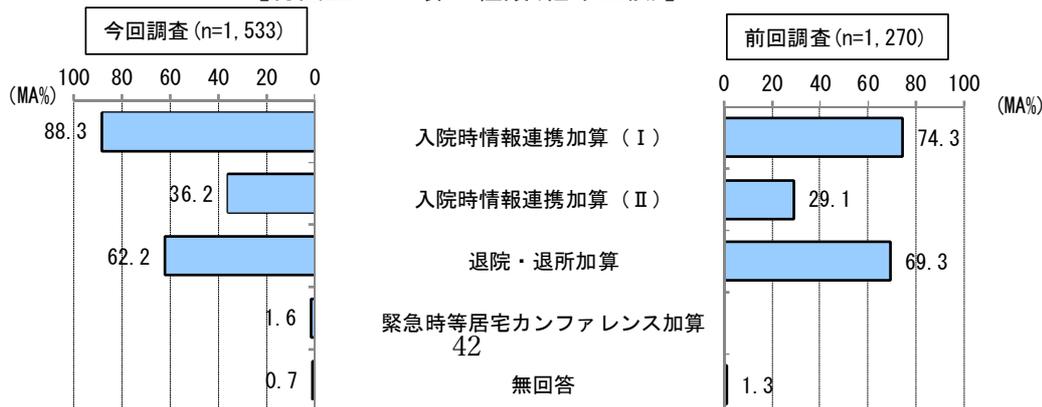
病院・施設との連携のための加算を請求しましたか。(○はひとつ)

【図22-1 病院・施設との連携のための加算請求の有無(経年比較)】



※選択肢の変換:「はい」→「請求した」、「いいえ」→「請求していない」

【付図22-1 加算の種類(経年比較)】



※「緊急時等居宅カンファレンス加算」は、今回調査の新規項目である。

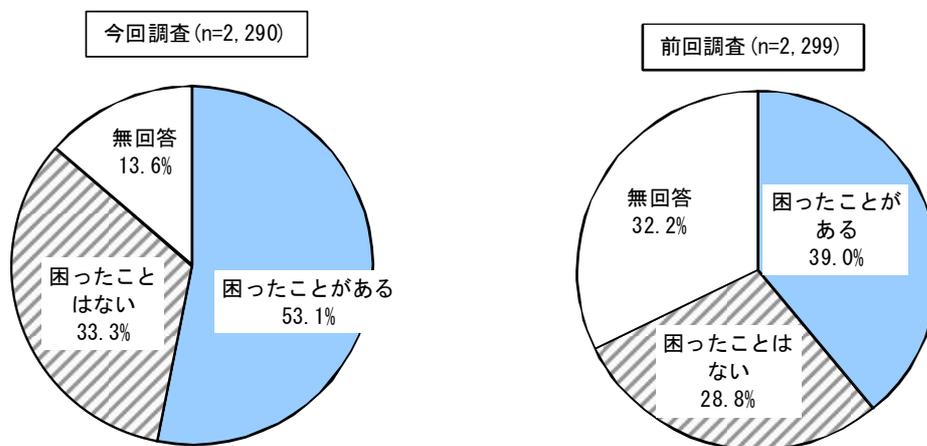
病院・施設との連携のための加算を請求したかについては、「請求した」が66.9%、「請求していない」が31.5%となっている。

前回調査と比較すると、「請求した」の割合が10.9ポイント高くなっている。  
請求したと回答した人に、請求した加算の種類をたずねると、「入院時情報連携加算（I）」が88.3%で最も多く、次いで「退院・退所加算」が62.2%となっている。

#### 問22-2 退院・退所の際に困ったことの有無

【問21で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】  
医療機関や施設などから退院や退所する際に困ったことはありましたか。（○はひとつ）

【図22-2 退院・退所の際に困ったことの有無（経年比較）】



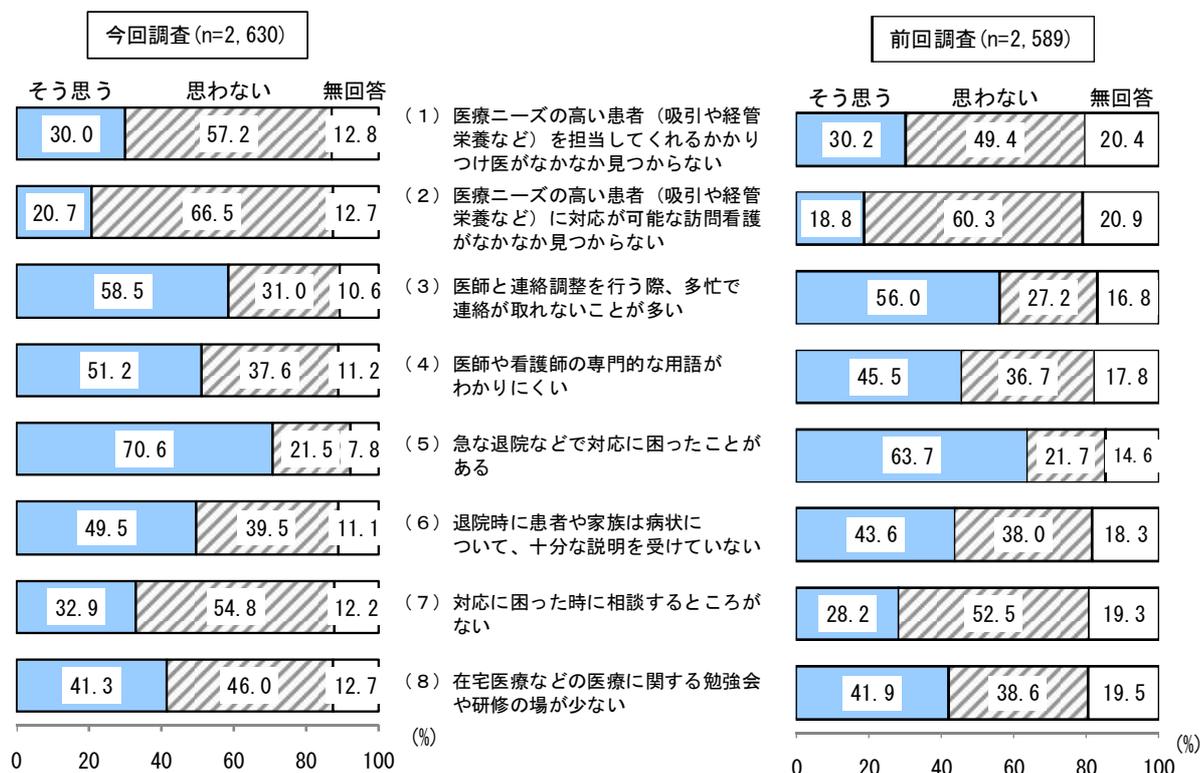
退院・退所の際に困ったことがあったかについては、「困ったことがある」が53.1%、「困ったことはない」が33.3%となっている。

前回調査と比較すると、「困ったことがある」の割合が14.1ポイント高くなっている。

問23 在宅で医療的な処置を必要とする支援で困っていること

在宅で医療的な処置を必要とする方の支援を行ううえで、困っていることについておうかがいします。(〇はそれぞれひとつ)

【図23 在宅で医療的な処置を必要とする支援で困っていること(経年比較)】



在宅で医療的な処置を必要とする支援で困っていることについて、「そう思う」の割合が高いのは、「(5)急な退院などで対応に困ったことがある」(70.6%)、「(3)医師と連絡調整を行う際、多忙で連絡が取れないことが多い」(58.5%)、「(4)医師や看護師の専門的な用語がわかりにくい」(51.2%)となっている。

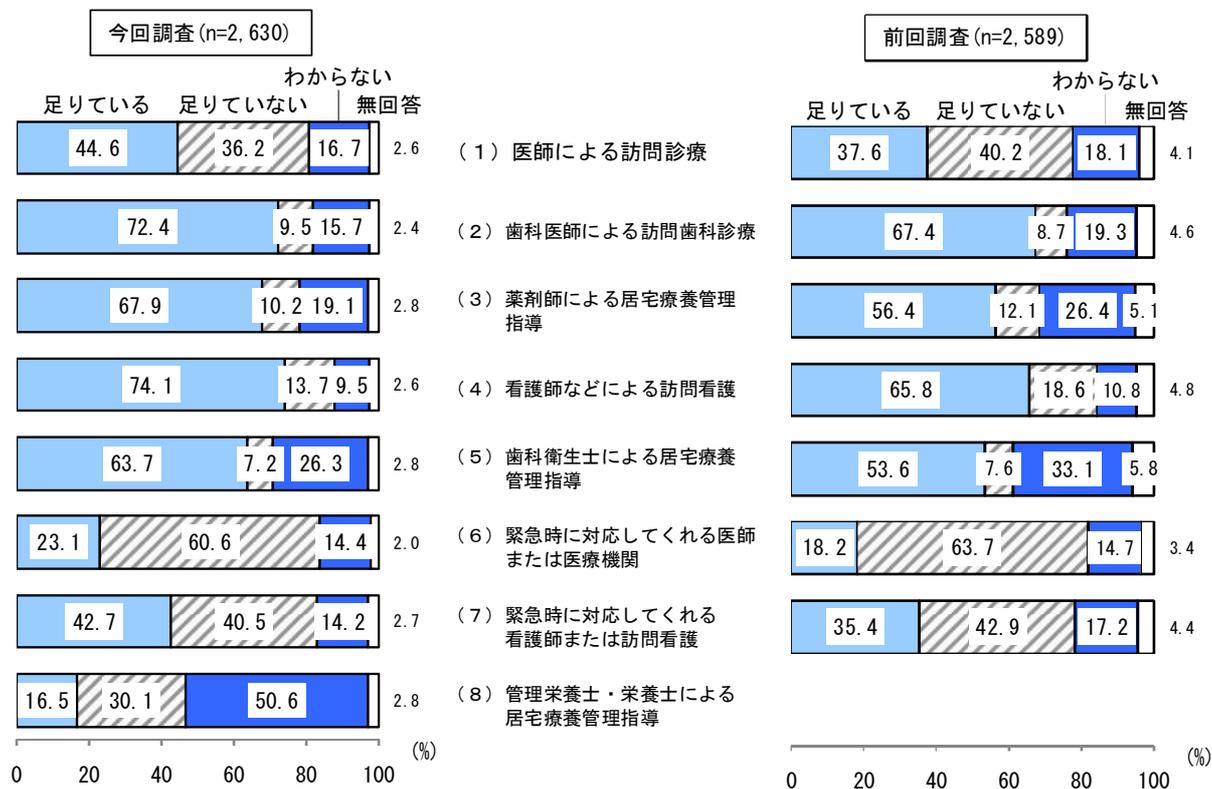
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。

問24 在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源

在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源についておうかがいします。

(○はそれぞれひとつ)

【図24 在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源(経年比較)】



※「(8)管理栄養士・栄養士による居宅療養管理指導」は、今回調査の新規項目である。

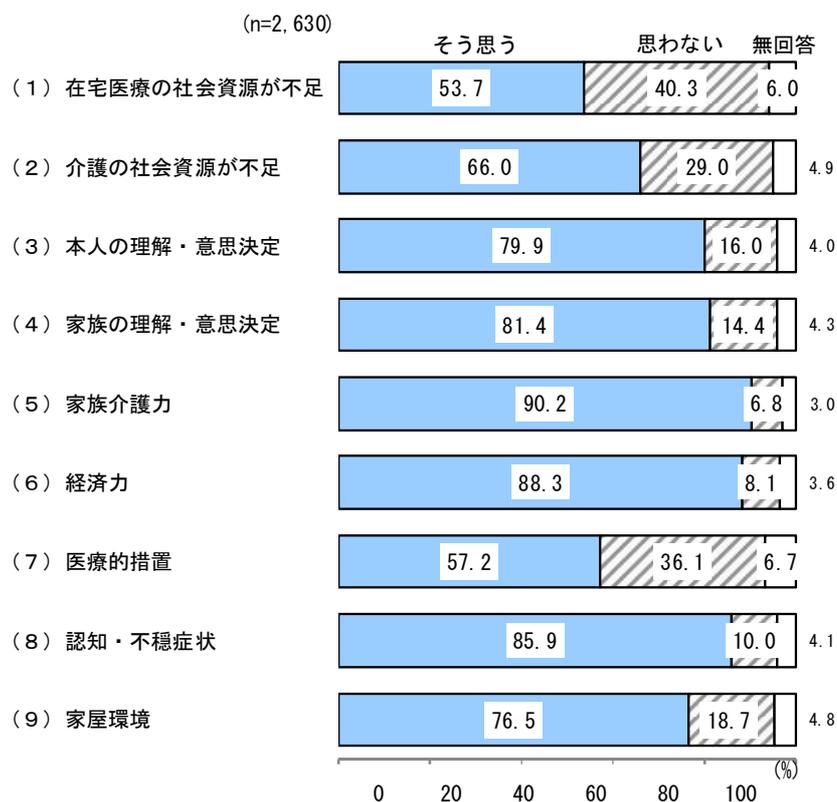
在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源については、「足りていない」割合が高いのは、「(6)緊急時に対応してくれる医師または医療機関」(60.6%)、「(7)緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護」(40.5%)、「(1)医師による訪問診療」(36.2%)となっている。

前回調査と比較すると、(8)以外のすべての項目で「足りている」の割合が前回より高くなっている。

問25 自宅での生活を継続するのに苦慮する課題

在宅医療が必要な利用者に対するケアマネジメントをする中で、自宅での生活を継続するのに苦慮する課題についておうかがいします。(○はそれぞれひとつ)

【図25 自宅での生活を継続するのに苦慮する課題】

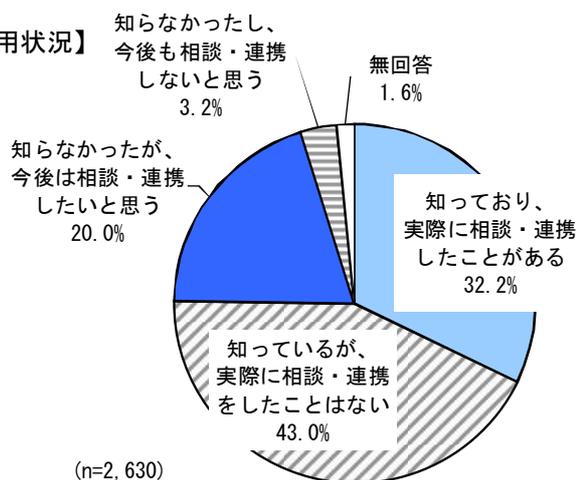


自宅での生活を継続するのに苦慮する課題については、「そう思う」の割合が高いのは、「(5) 家族介護力」が90.2%で最も高く、次いで「(6) 経済力」が88.3%、「(8) 認知・不穏症状」が85.9%となっている。

問26 在宅医療・介護連携相談支援室の認知度・利用状況

各区にある「在宅医療・介護連携相談支援室」についておうかがいします。(○はひとつ)

【図26 在宅医療・介護連携相談支援室の認知度・利用状況】

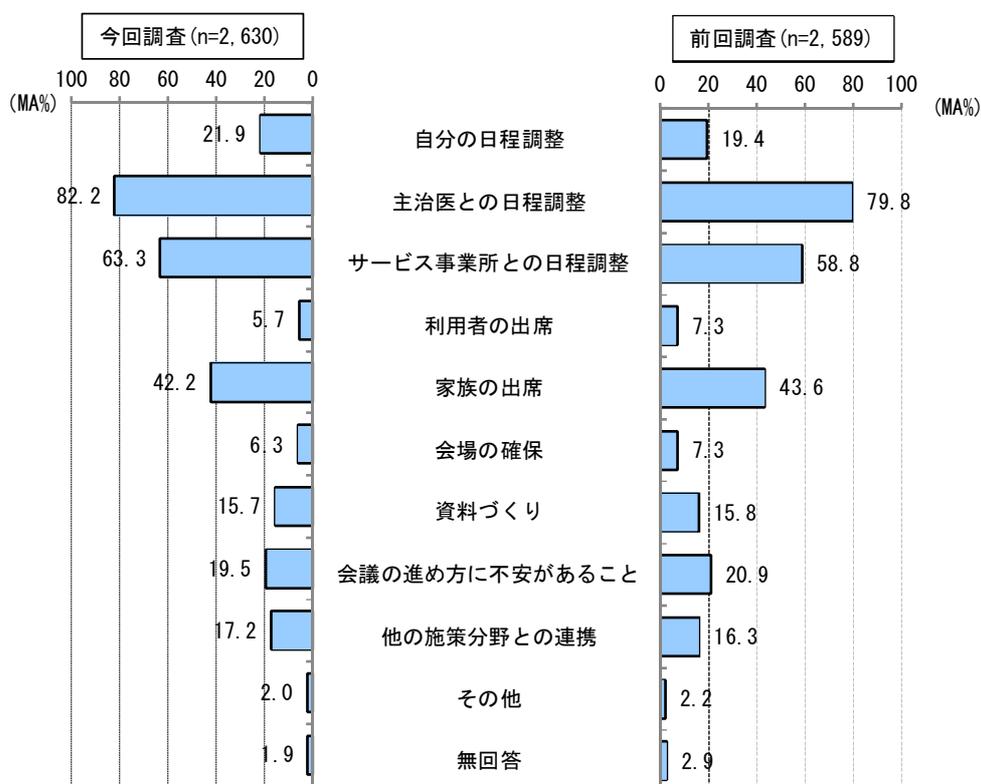


在宅医療・介護連携相談支援室の認知度・利用状況については、「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」が 43.0%で最も多く、次いで「知っており、実際に相談・連携したことがある」が 32.2%、「知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う」が 20.0%となっている。

問27 サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていること

サービス担当者会議の開催にあたり、困難と感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

【図27 サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていること(経年比較)】



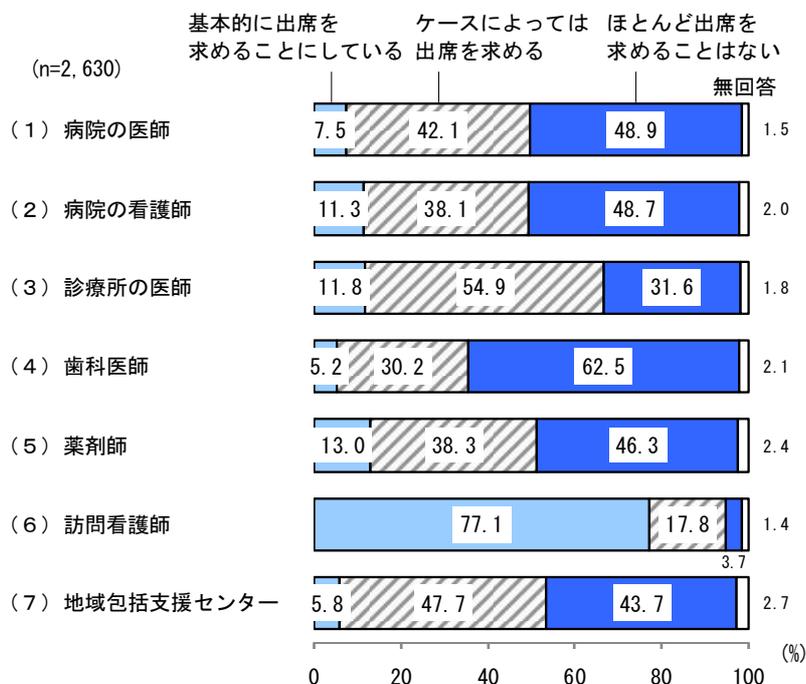
サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていることについては、「主治医との日程調整」が82.2%で最も多く、次いで「サービス事業所との日程調整」が63.3%、「家族の出席」が42.2%となっている。

前回調査と比較すると、「サービス事業所との日程調整」の割合が 4.5 ポイント高くなっている。

問28 サービス担当者会議における各職種への出席要請

サービス担当者会議における、各職種への出席要請に関する方針についておうかがいします。(〇はそれぞれひとつ)

【図28 サービス担当者会議における各職種への出席要請】

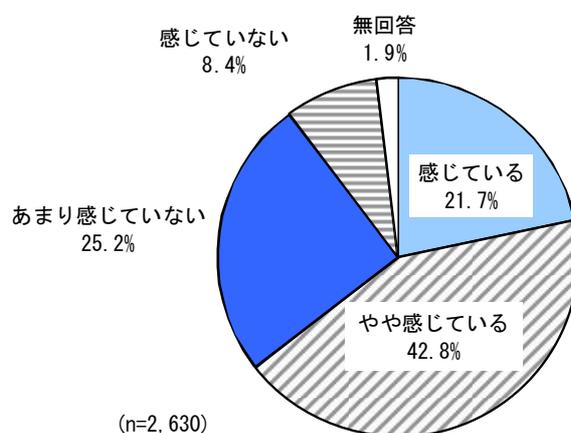


サービス担当者会議における各職種への出席要請については、「基本的に出席を求めている」の割合が高いのは、「(6)訪問看護師」(77.1%)である。「ほとんど出席を求めることはない」の割合が高いのは、「(4)歯科医師」(62.5%)となっている。

問45 仕事の満足感

あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか。(〇はひとつ)

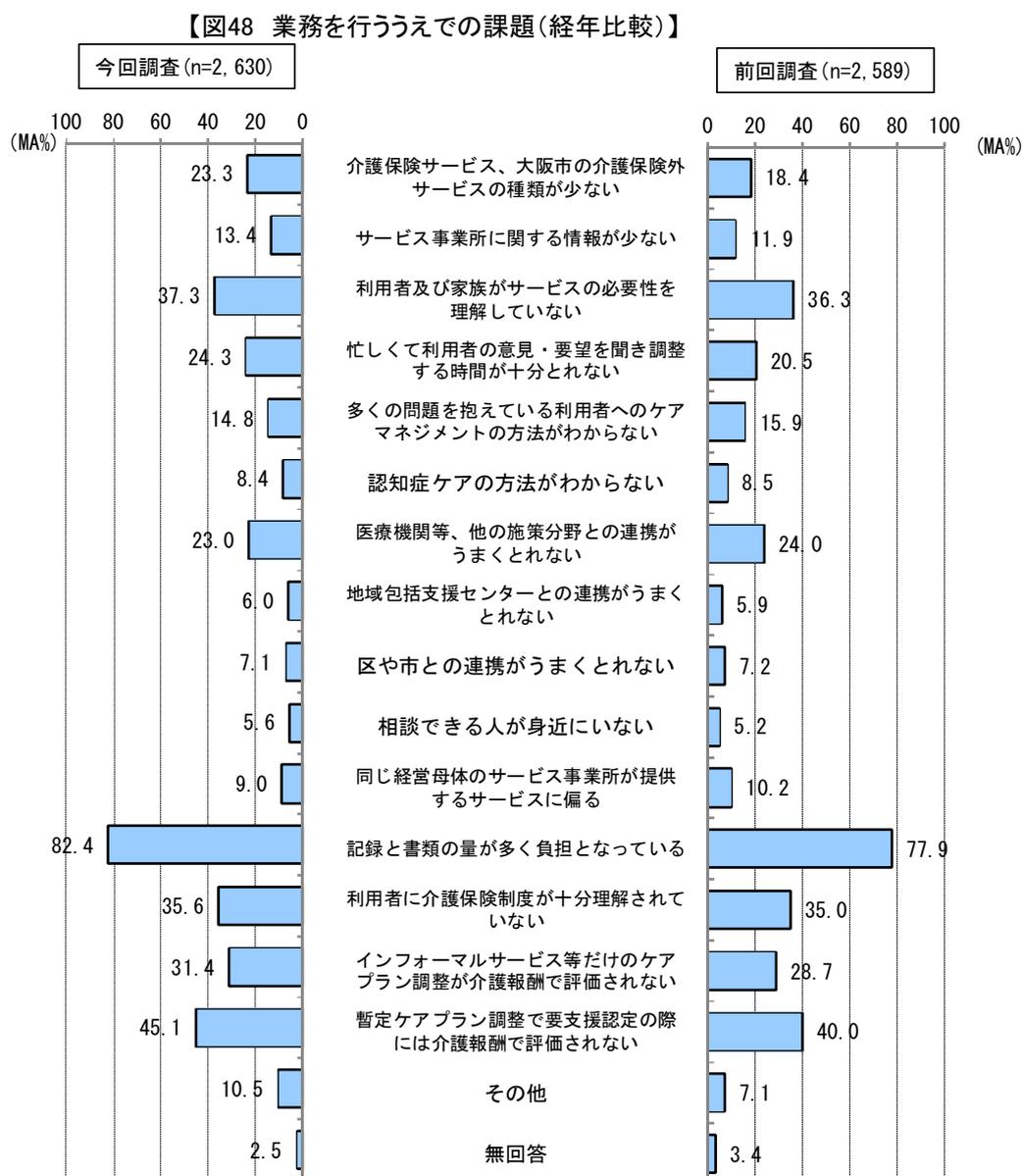
【図45 仕事の満足感】



仕事に満足感を感じているかについては、「やや感じている」が 42.8%で最も多く、次いで「あまり感じている」が 25.2%、「感じている」が 21.7%で、『感じている』（「感じている」と「やや感じている」の合計）の割合は 64.5%となっている。

#### 問48 業務を行ううえでの課題

介護支援専門員業務を行ううえで、課題として考えているのはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)



業務を行ううえでの課題については、「記録と書類の量が多く負担となっている」が82.4%で最も多く、次いで「暫定ケアプラン調整で要支援認定の際には介護報酬で評価されない」が45.1%、「利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない」が37.3%となっている。

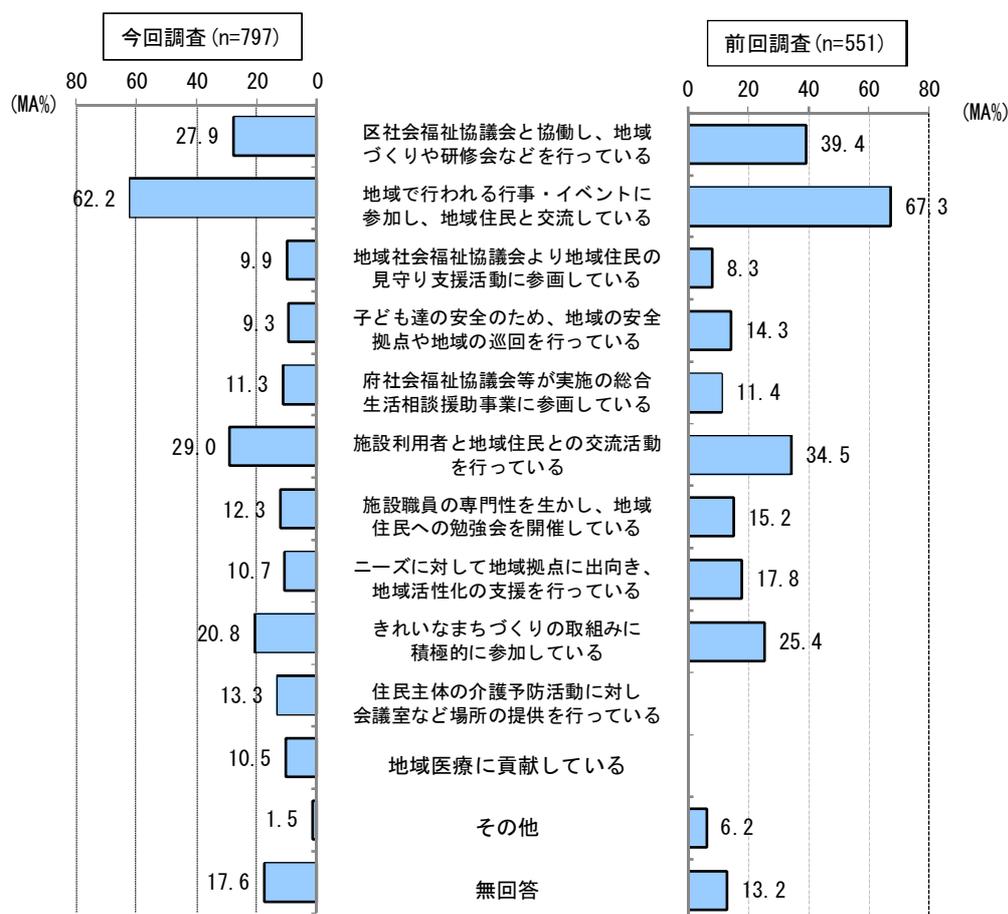
前回調査と比較すると、「暫定ケアプラン調整で要支援認定の際には介護報酬で評価されない」の割合が5.1ポイント、「介護保険サービス、大阪市の介護保険外サービスの種類が少ない」の割合が4.9ポイント、それぞれ高くなっている。

## 【施設調査】

### 問 15 地域福祉に貢献していること

地域福祉に貢献していることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図15 地域福祉に貢献していること(経年比較)】



地域福祉に貢献していることについて、「地域で行われる行事・イベントに参加し、地域住民と交流している」が62.2%で最も多く、次いで「施設利用者と地域住民との交流活動を行っている」が29.0%となっている。

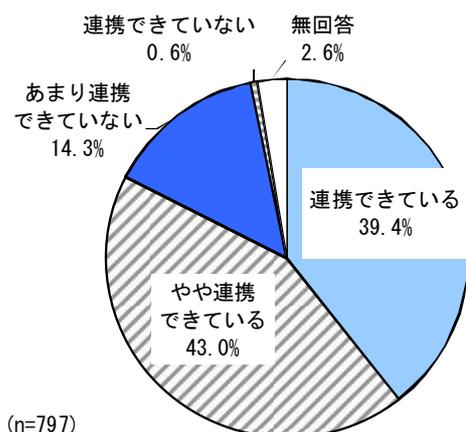
前回調査と比較すると、「区社会福祉協議会と協働し、地域づくりや研修会などを行っている」の割合が11.5ポイント、「施設利用者と地域住民との交流活動を行っている」の割合が5.5ポイント、それぞれ低くなっている。

問 16 (1)他職種・他機関との連携

医療と介護の連携についておうかがいします。

貴施設は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。(○はひとつ)

【図16(1) 地域の他職種・他機関との連携状況】



地域の他職種・他機関との連携状況について、「やや連携できている」が43.0%で最も多く、次いで「連携できている」が39.4%となっている。

施設別でみると、「連携できている」は“認知症高齢者グループホーム”で43.0%、“有料老人ホーム”で42.8%と高くなっている。

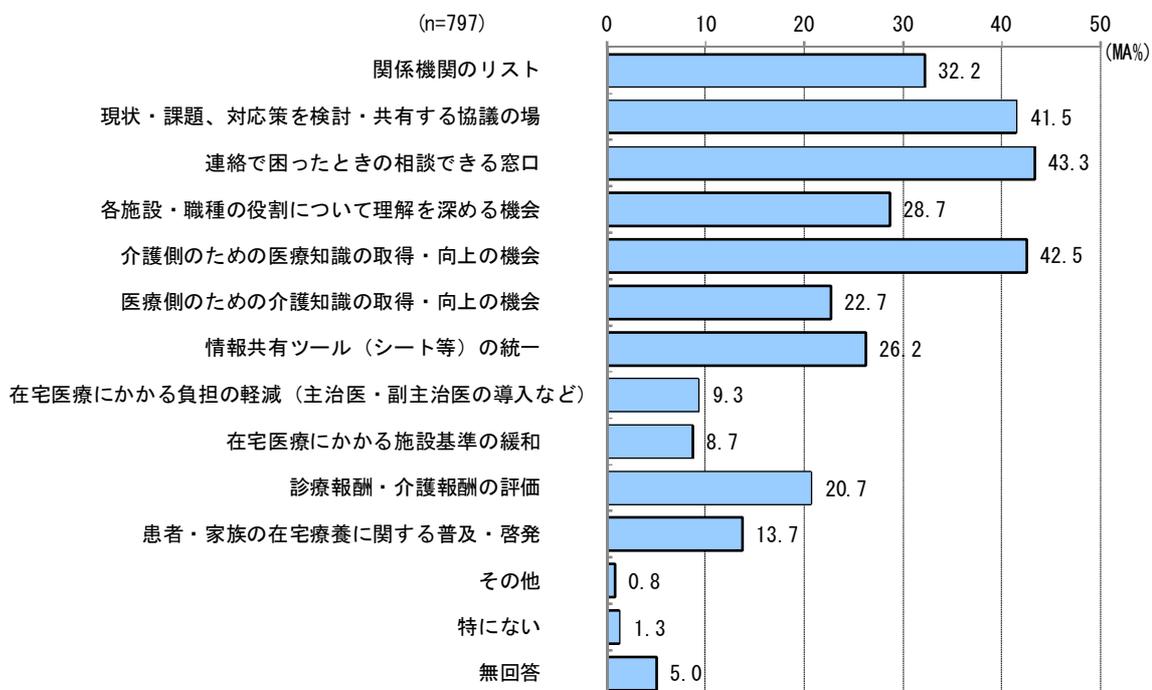
【図16(1)-a 地域の他職種・他機関との連携状況(施設別)】

|                               | n   | (MA%)   |           |             |          |     |
|-------------------------------|-----|---------|-----------|-------------|----------|-----|
|                               |     | 連携できている | やや連携できている | あまり連携できていない | 連携できていない | 無回答 |
| 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)           | 135 | 31.9    | 53.3      | 11.9        | 0.7      | 2.2 |
| 地域密着型介護老人福祉施設(地域密着型特別養護老人ホーム) | 8   | 25.0    | 50.0      | 25.0        | -        | -   |
| 介護老人保健施設                      | 69  | 36.2    | 53.6      | 7.2         | 1.4      | 1.4 |
| 介護医療院・介護療養型医療施設               | 7   | 42.9    | 42.9      | 14.3        | -        | -   |
| 養護老人ホーム                       | 9   | 11.1    | 33.3      | 55.6        | -        | -   |
| 軽費老人ホーム                       | 18  | 33.3    | 44.4      | 22.2        | -        | -   |
| 生活支援ハウス                       | 3   | 66.7    | -         | 33.3        | -        | -   |
| 認知症高齢者グループホーム                 | 173 | 42.8    | 37.0      | 16.8        | 0.6      | 2.9 |
| 有料老人ホーム                       | 257 | 42.8    | 38.1      | 14.8        | 0.8      | 3.5 |
| 有料該当のサービス付き高齢者向け住宅            | 53  | 39.6    | 49.1      | 11.3        | -        | -   |
| サービス付き高齢者向け住宅                 | 65  | 41.5    | 43.1      | 10.8        | -        | 4.6 |

問 16 (2)在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと

在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておうかがいします。  
(必要性の高いものから順に3つまで○)

【図16(2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと】



在宅医療・介護連携の推進のために必要なことについて、「連絡で困ったときの相談できる窓口」が43.3%で最も多く、次いで「介護側のための医療知識の取得・向上の機会」が42.5%となっている。

施設別でみると、「介護側のための医療知識の取得・向上の機会」は“認知症高齢者グループホーム”で57.2%と高くなっている。

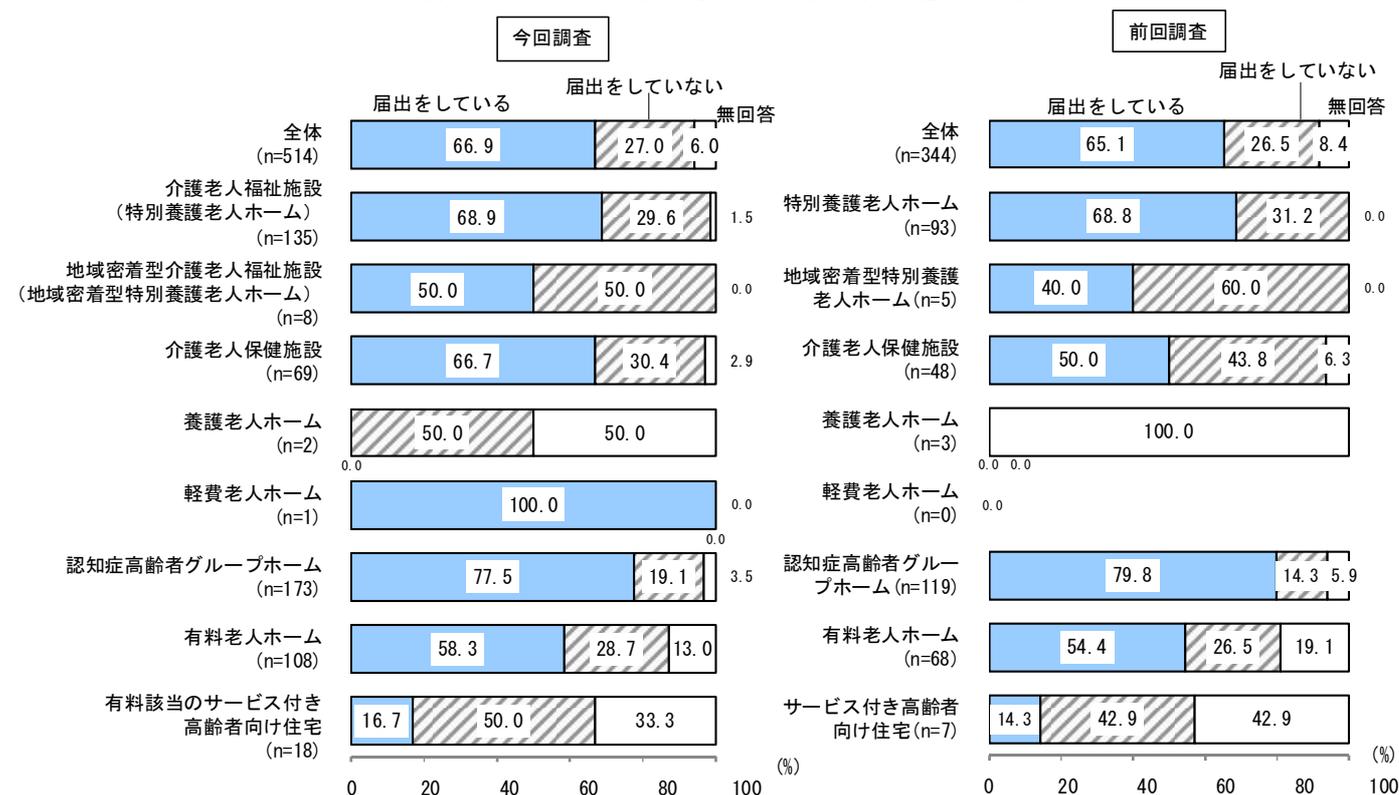
【図16(2)-a 在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと(施設別)】

|                               | n   | 関係機関のリスト | 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 | 連絡で困ったときの相談できる窓口 | 各施設・職種の役割について理解を深める機会 | 介護側のための医療知識の取得・向上の機会 | 医療側のための介護知識の取得・向上の機会 | 情報共有ツール（シート等）の統一 | 在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医の導入など） | 在宅医療にかかる施設基準の緩和 | 診療報酬・介護報酬の評価 | 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 | その他  | 特にない | 無回答  |
|-------------------------------|-----|----------|-----------------------|------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------|------------------------------|-----------------|--------------|---------------------|------|------|------|
| 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）           | 135 | 39.3     | 45.2                  | 48.1             | 34.1                  | 36.3                 | 27.4                 | 31.9             | 7.4                          | 7.4             | 21.5         | 11.9                | -    | -    | 3    |
| 地域密着型介護老人福祉施設（地域密着型特別養護老人ホーム） | 8   | 50.0     | 37.5                  | 50.0             | 37.5                  | 50.0                 | 25.0                 | 25.0             | -                            | -               | -            | 12.5                | -    | -    | -    |
| 介護老人保健施設                      | 69  | 23.2     | 40.6                  | 47.8             | 37.7                  | 27.5                 | 26.1                 | 36.2             | 10.1                         | 11.6            | 33.3         | 11.6                | 1.4  | 1.4  | 2.9  |
| 介護医療院・介護療養型医療施設               | 7   | 42.9     | 14.3                  | 42.9             | -                     | 14.3                 | 28.6                 | 14.3             | -                            | -               | -            | 14.3                | 14.3 | 14.3 | -    |
| 養護老人ホーム                       | 9   | 44.4     | 55.6                  | 44.4             | 44.4                  | 11.1                 | 11.1                 | 11.1             | 11.1                         | -               | 22.2         | 22.2                | -    | -    | -    |
| 軽費老人ホーム                       | 18  | 44.4     | 50.0                  | 33.3             | 38.9                  | 27.8                 | 11.1                 | 38.9             | 11.1                         | 5.6             | 11.1         | 5.6                 | -    | -    | 5.6  |
| 生活支援ハウス                       | 3   | 33.3     | 66.7                  | 33.3             | -                     | 33.3                 | 33.3                 | -                | 33.3                         | -               | 33.3         | 33.3                | -    | -    | -    |
| 認知症高齢者グループホーム                 | 173 | 27.7     | 41.0                  | 42.2             | 28.3                  | 57.2                 | 24.3                 | 23.7             | 8.7                          | 9.8             | 20.2         | 11.0                | 0.6  | 2.9  | 4.6  |
| 有料老人ホーム                       | 257 | 32.7     | 37.7                  | 42.4             | 24.9                  | 42.8                 | 20.6                 | 21.0             | 10.5                         | 9.3             | 21.0         | 18.3                | 1.2  | 1.2  | 6.6  |
| 有料該当のサービス付き高齢者向け住宅            | 53  | 37.7     | 43.4                  | 41.5             | 24.5                  | 43.4                 | 15.1                 | 35.8             | 3.8                          | 9.4             | 22.6         | 13.2                | -    | -    | 1.9  |
| サービス付き高齢者向け住宅                 | 65  | 24.6     | 47.7                  | 38.5             | 26.2                  | 41.5                 | 23.1                 | 24.6             | 13.8                         | 6.2             | 10.8         | 9.2                 | -    | -    | 10.8 |

問 18 (1) 看取りの届出状況

《特養、老健、特定施設、認知症高齢者グループホームの施設におうかがいします。》  
 施設における「看取り」の状況についておうかがいします。  
 看取り介護加算、ターミナルケア加算、医療連携体制加算の届出をされていますか。

【図18(1) 看取りに関する加算の届出有無(経年比較)】



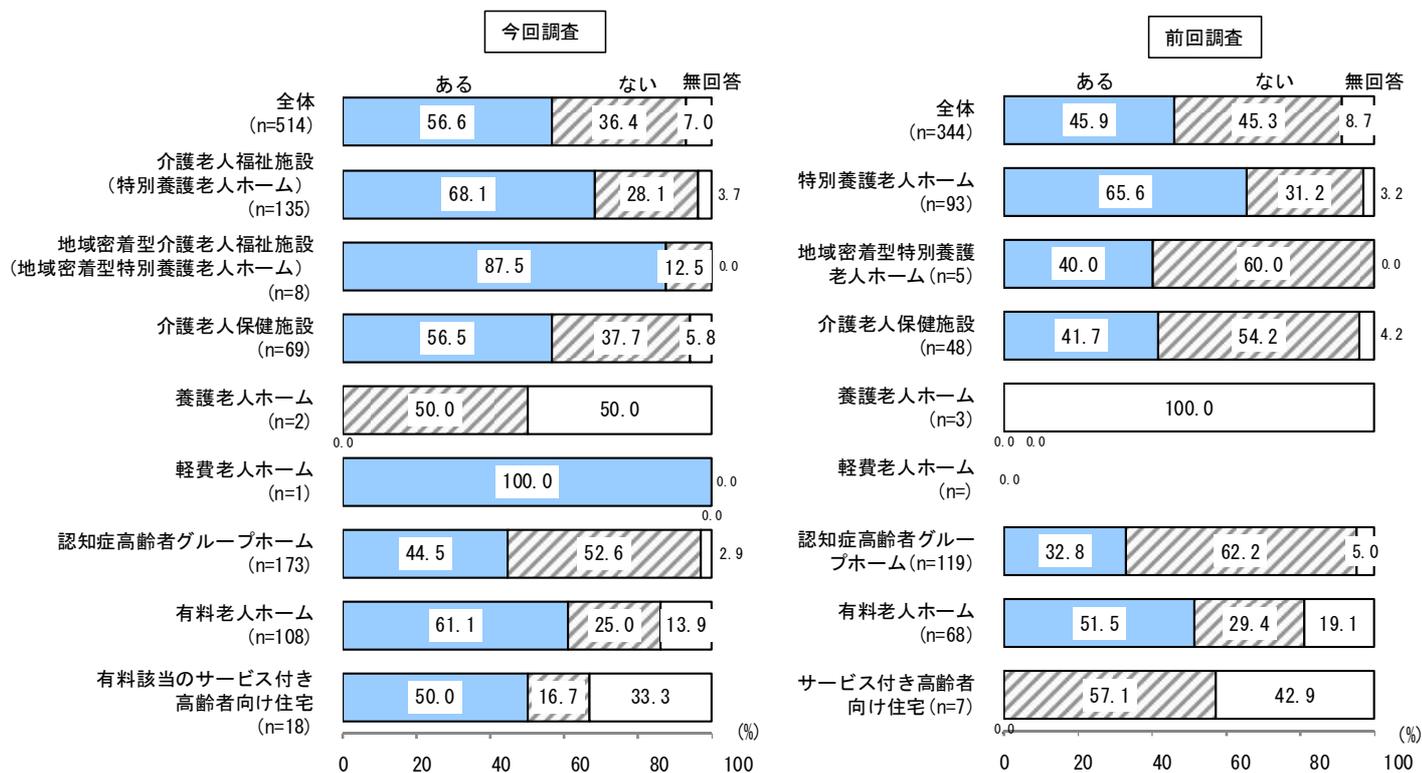
看取り介護加算、ターミナルケア加算、医療連携体制加算の届出をしているかについて、全体では、「届出をしている」が66.9%、「届出をしていない」が27.0%となっている。

前回調査と比較すると、全体では、概ね前回と同様の傾向となっている。  
 施設別でみると、「届出をしている」は“認知症高齢者グループホーム”で 77.5%と高くなっている。

問 18(2) 看取りの実績

《特養、老健、特定施設、認知症高齢者グループホームの施設におうかがいします。》  
 昨年度(H30.4～H31.3)において、施設内で「看取り」を行ったことがありますか。

【図18(2) 昨年度で施設内の看取り有無(経年比較)】



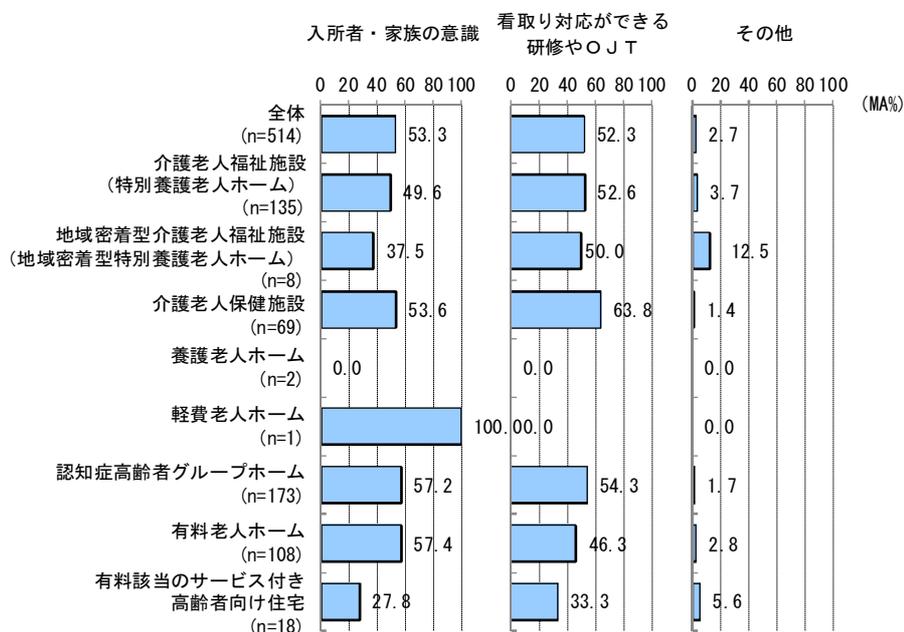
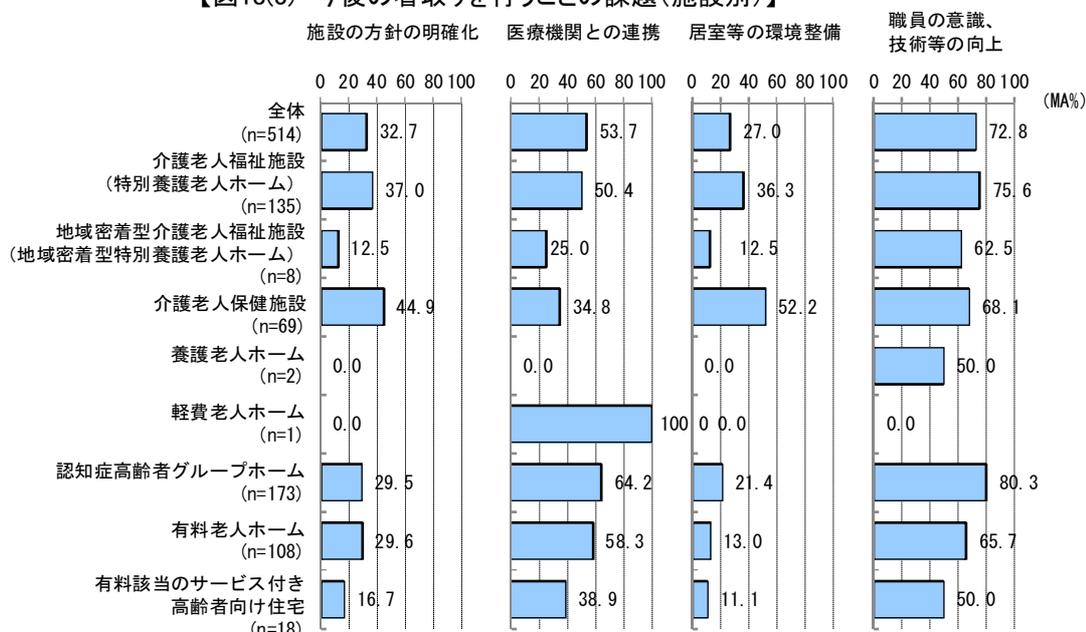
昨年度で施設内の看取りを行ったことがあるかについて、全体では「ある」が56.6%、「ない」が36.4%となっている。平均の人数は4.7人となっている。

前回調査と比較すると、全体では「ある」の割合が10.7ポイント高くなっている。施設別でみると、「ある」は“介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)”で68.1%と高くなっている。

問 18(3) 今後の看取りの課題

《特養、老健、特定施設、認知症高齢者グループホームの施設におうかがいします。》  
 今後の「看取り」を行うにあたっての課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図18(3) 今後の看取りを行うことの課題(施設別)】



今後の看取りを行うことの課題について、全体では「職員の意識、技術等の向上」が72.8%で最も多く、次いで「医療機関との連携」が53.7%となっている。  
 施設別では、「職員の意識、技術等の向上」は「認知症高齢者グループホーム」で80.3%と高くなっている。「医療機関との連携」は「認知症高齢者グループホーム」で64.2%と高くなっている。